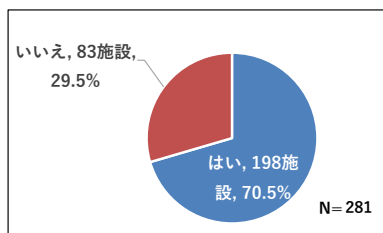


# 新型コロナウイルス感染症対策に関するアンケート調査

## 自由記述一覧 (4/24時点)

1 現在、貴施設では、新型コロナウイルス感染症に関して何らかの対応を行っていますか。



### ▼「はい」と回答した施設の自由記載

発熱患者を一般の外来と区切り、熱性呼吸器疾患患者用問診票と対応マニュアルを作成して対応をしている。4月16日現在までにPCR検査を12件実施した。
非接触を診察の基本とし、発熱など感冒用症状の患者の診察は時間帯と場所を変えている。発熱者を診るときは、マスク・帽子・ガウン・手袋・フェイスシールドを使用。
電話で容態を聞き、薬の投与をしている。
・入院面会禁止（例外あり）
・患者急増に備えて、コロナ対応の外来（検体採取等）設置について保健所と協議中
一般受診の前に体調不良の有無、体温測定等を実施。
既に検体採取の外来を行っている。
疑わしい患者は、一般の患者と同時に院内に入れないようにしている。
感染の流行期に応じたマニュアルを作成。
無症状や軽症者が外来へ紛れ込んで来る可能性もあるので、院内感染の予防の対策をしています。マスクなどの予防策の他に、3密にならないような対策をしています。換気、人との距離、接触時間、リスクの高い人の導線などに注意しています。
注意喚起文書を診療域に全戸配布。発熱等、風邪症状患者と一般診療について受付時間を分ける。電話診療開始。受付では透明テーブルクロスを張り、患者との接触を最小限にした。診療所内では2m間隔の徹底（3密の回避）。風邪症状者診察後、動線など消毒。
帰国者・接触者外来にて検体採取。
感染症指定病院なので、疑い例を10例検査しました。いずれも陰性で入院治療は今のところ行った症例はありません。
検体採取実施中。
発熱外来専用の問診票を、新型コロナウイルス感染に関する項目を加え改善したり、専用外来の準備をしたりしている。（感染対象外来）
感染症外来の整備
・他の患者と接触しないよう、動線の見直し
・感染症外来2か所確保
・受付手順の見直しと消毒薬等の設置等（検体採取は行ってない。入院体制はない。）
当院では未だ新型コロナウイルス患者は発生していません。37.0度以上の発熱で強い倦怠感や咳・息苦しさのある患者には玄関のインターホンにてその旨言ってもらい看護師がインターホン越しに問診を行い、疑わしい場合は通常の外来ではなく別室にて医師が診察を行うこととしています。
・発熱者に対しては、車内で待ってもらったり、隔離室で対応し必要に応じて保健所に連絡している。
・検体採取の外来は行ってない。
・出勤前に全職員が検温を実施。
・マスク、手洗い、換気、環境整備の徹底
発熱のある外来を開き（非公式）1例covid-19のPCRを提出した。
帰国者・接触者外来を開設し、PCR検体採取を行っている。
発熱外来（検体採取）の設置（住民には公表していません）（保健所経由と民間委託のPCR検査を実施）。コロナ感染者の入院治療を始めている（都道府県の指示に基づき）（住民には公表していません）
検温。家族や同居家族の渡航歴および7都道府県への旅行の有無などの問診。
・職員の健康管理
・発熱患者の外来設置
・面会禁止
検体採取の外来を行っている。
プレハブ診察室を検討している。
発熱者は別室で待機、診察を行い患者同士の接触を避けるように努力している。
今後、診療所内に入ることなく駐車場の車内でタブレットによる診察を行うことも検討中である。
・現状は通常の感染対策の取り組みの一環として取り組みを行っている。
・特にコロナ対策としては、状況に応じたマニュアルの改訂を重ねつつ、一定のプロトコールを作成したうえで一般外来を通常通り行っている。
・患者発生に備えシュミレーションを順に行っているところ。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員の体温測定（患者さんと職員）</li> <li>・間をあけて座ってもらう</li> <li>・換気</li> </ul>
<p>発熱等の外来患者は別室にて診察を行っている。職員の健康監察を毎朝行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行等行動歴の問診、接触歴等の確認（カゼ症状の方のみ）</li> <li>・発熱外来を設置</li> <li>・出入口に手指消毒アルコールの設置</li> <li>・病院訪問者に対する建物立ち入り前の手指消毒、検温の徹底(37.5度以上は別室対応)</li> <li>・職員に対する体調管理の徹底(出勤前の検温、一定条件における病院への報告等)</li> <li>・入院患者面会禁止</li> <li>・かぜ症状患者の隔離対応(ユニットハウス設置)</li> </ul>
<p>既に検体採取の対応を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰国者・接触者外来(協力医療機関のため)で保健所の指示で検体採取を行っている。</li> </ul>
<p>市として帰国者・接触者外来を設置し検体採取を行っているが、今後は当院でも行う予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・慢性疾患等を有する定期受診患者等で投薬のみの方への電話診察処方実施（3月2日～22日）</li> <li>・発熱症状等がある方の受診前連絡及び面会全面禁止</li> <li>・発生拡大に対応するための準備（資材確保,マニュアル整備確認等）</li> <li>・近隣病院施設との連携協議</li> <li>・医療従事者が感染した際の対応</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健所相談し、必要な患者様の検体採取は行っている</li> <li>・玄関で来院者全員の体温測定をし、発熱者は別玄関にてゾーニング対応している</li> <li>・来院者を少なくするため、処方箋だけの受付や予約の延長を実施している</li> <li>・面会禁止</li> <li>・全職員、出勤前の体温測定の実施</li> </ul>
<p>疑い症例に対して検体採取を外来で行った。</p>
<p>保健所から検体採取依頼があった場合実施。</p>
<p>コロナの拡散防止でコロナ対問診、消毒をしている。歯科診療処置内容は制限している。</p>
<p>帰国者・接触者外来の設置及び保健所との連携。</p>
<p>入院が必要と判断された患者の受入れ（入院）。</p>
<p>院内予防計画、住民予防計画</p>
<p>帰国者、接触者外来</p>
<p>手指アルコール消毒</p>
<p>感染防止対策職員行動指針を策定し、職員の行動や会議開催方針等について注意喚起を促している。</p>
<p>必要時、検体採取を行っている。新型コロナウイルス外来必要時に対応できるよう準備している。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の外来診療と分けて、発熱外来を設置。発熱者の診療時間も午後の外来を避けて実施。</li> <li>・玄関にインターホンを設置し、発熱者はそのインターホンを鳴らし、院外で待っていただき職員が、発熱外来に誘導し、診察を行っている。</li> <li>・来院者の入口を1か所に絞って来院者すべてに検温実施。</li> <li>・面会禁止。（患者の容態によっては、検温・呼吸器症状の確認を行い、面会許可）</li> <li>・入院患者接触者職員へ標準予防策の実施。</li> </ul>
<p>当初から指定医療機関ではないが、帰国者接触者外来の協力医療機関として検体採取の外来を行っている。また、入院協力医療機関として対応している。</p>
<p>3密対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診間隔を2～3ヶ月に開ける</li> <li>・待合所での人の間隔をあける。</li> <li>・感冒症状や発熱者の受診抑制や受診時間帯の制限、ルート制限</li> <li>・換気</li> <li>・手指消毒 など</li> </ul>
<p>帰国者・接触者外来協力医療機関として、疑似症患者の診察及びPCR検査検体採取を行うとともに、病室3床を確保している。</p>
<p>現段階では、コロナ感染症患者の対応はない。今後、無症状罹患患者の外来受診に対し、考えられる限りの予防対策を取っている。感染症患者対応マニュアルの見直しやコロナ対策の最新情報の収集及び改善など。</p>
<p>全外来患者に対して受付前にコロナウイルス感染疑いのスクリーニングの問診を行い、フローチャートに従って診療をすすめる様に準備している。コロナ感染患者の診療の受け入れや検査採取は行わない。</p>
<p>発熱、かぜ症状のある患者と一般患者との接触を避けるため、出入口、待合室、診察室を別に設けている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染（発熱、咳、倦怠感）の可能性がある患者と一般患者動線を区別する。</li> <li>・感染区域と一般区域と区別する。</li> <li>・接触、飛沫感染予防の徹底。</li> <li>・帰国者、接触者外来の設置</li> <li>・病院玄関での、発熱者のトリアージ</li> <li>・コロナ感染者疑いの入院病棟の設置</li> </ul>
<p>当院では検査は行っていませんので、基本的に相談センターに直接連絡していただいています。発熱やかぜ症状の方は時間と部屋を分け、スタンダードプリコーションで診ております。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話による相談や、診療の実施</li> </ul>
<p>患者及び医療従事者への感染予防対策の徹底</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期の患者及び発熱外来については、電話を用いた診療で対応</li> <li>・ 発熱外来を別棟に設けた</li> </ul>
<p>医療従事者及び事務担当者全員のマスク着用及び消毒液の設置箇所増加。発熱のある外来受診者は事前に電話にて本診療所に連絡を入れてから受診するよう島内放送にて周知済。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員に出勤前の検温を徹底し、37.5℃以上熱がある場合は出勤停止</li> <li>・ 出張、大人数が集まる場所への参加は緊急性がない限り、原則禁止</li> <li>・ 入院患者への面会の制限（家族のみ、検温、マスク着用、短時間）（老健施設は、全面面会禁止）</li> <li>・ 取引業者の出入りの制限（基本的に物品納入時のみ、マスク着用、営業活動の禁止）</li> <li>・ 県内にパンデミックが発生した時は、1病棟を新型コロナウイルス専用病棟にする</li> <li>・ 既に検体採取「帰国者・接触者外来」を行っている。</li> <li>・ 疑い例を含め、入院対応を行っている。（PCR陽性者は現時点で出ていない）</li> </ul>
<p>帰国者・接触者外来を設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ X-P（必要時CT検査）</li> <li>・ 処方</li> <li>・ PCR検体採取</li> </ul>
<p>外来患者様のPCR検査を実施（4月8日現在 2例）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染症を疑う症例において、保健所を通じ検体採取を実施</li> <li>・ 入院において、キーパーソンに限定。必要最小限の面会とした</li> <li>・ リハビリ患者、面会者等の検温及び手指消毒、マスク着用の要請</li> <li>・ 薬剤・物品業者等の入所制限・検温・手指消毒</li> <li>・ 発熱患者・感染症疑い患者の待機室及び診察室の隔離</li> <li>・ 職員の検温・感染症予防対策の徹底</li> <li>・ 発熱等患者と一般の外来患者が接触しないよう患者入口、患者処置室を区分けしている。</li> <li>・ 関係者以外の病棟への出入りを禁止している。</li> </ul>
<p>一般外来患者の体温計測と問診を行うブースを病院入口に設定。</p> <p>病院入り口で発熱者とそれ以外の患者さんの経路を分けて対応している。当院を発熱などで受診した場合、新型コロナウイルス感染症が少しでも疑われるような患者さんに帰国者・接触者相談センターに連絡してもらっている。その上で当院受診を指示された場合診療している。その中でPCR検査を提出、現在までに8件提出、すべて陰性だった。</p> <p>発熱外来導線を分けている。病棟面会禁止措置。</p> <p>帰国者・接触者外来を設置しており、感染患者受入れの体制を整えている。</p> <p>発熱者は別室で対応している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帰国者・接触者外来の設置</li> <li>・ 入院患者への原則面会禁止</li> <li>・ 発熱外来を設置し、有熱者は、午後予約制にて、建物外で診療を行う</li> </ul> <p>入口を閉じて窓から対応。診察可能と判断した人を入れて、他の人は車で待ってもらっている。処方車は車で窓口に来てもらう。（ドライブスルー方式）</p> <p>PCR行政検査で検体採取を行っている。</p> <p>咳、発熱などの症状のある来院者は、車での待機をお願いし、可能な限り院内にいる時間を減らしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 院内感染防止の為に、電話でのオンライン診察、診察以外の時間は車内待機とし、患者同士の接触をできるだけ避けるように取り組んでいる。</li> <li>・ 風邪症状や発熱患者に対しては、全ての診療業務を院外、車内で行っている。</li> </ul> <p>受診前の電話での問い合わせを徹底し、既定の問診票を用いて病歴を詳細に確認している。受診の必要がない、また感冒とコロナウイルスの鑑別が困難事例に対しては、電話で連日状態確認をし、4日以上発熱時は保健所へ問い合わせを今後の方針を伺うようにしている。</p> <p>入館される方にはマスクの着用を徹底させている。待合室で待っていただく際にも、ひとりひとりの間隔をあけて座ってもらっている。また、館内の複数箇所にアルコール消毒用のスプレーを設置したり、注意喚起文を掲示することも実施している。受付カウンターには、職員・患者間の飛沫感染を防ぐため、透明なビニールを設置することで対応している。</p> <p>外来受診にあたっては、厚労省からの通達に準じて対応している。</p> <p>面会制限、禁止</p> <p>発熱、咳等の患者さんには、外来受診前に受け付けに電話をしていただき、その後通常の診察室でなく、別にもうけた発熱外来にて診察を行っている。その際には、手袋、防護服を着けて診察を行っている。咳等があれば、ゴーグルをつける。カルテは持ち込まずに、診察室外で記載する。診察道具も外にださずに、発熱外来専用としている。</p> <p>発熱患者の動線を他の患者と分けている。</p> <p>外来診療後に診療所内の消毒を行い診療所内の衛生管理を行っている。</p> <p>患者への啓発、院内の感染症対策を行っている。現在検査、治療は行っていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期受診の方と有症状者が接することを極力回避するように動線を区別している。また、来院時間も可能な限り分離している。</li> <li>・ 待合室が、いわゆる三密とならないように換気等、心がけている。状況によっては、自家用車内で待機してもらっている。</li> </ul> <p>発熱患者は屋外で対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県より接触者外来開催の依頼が来たので準備し4/20～始められるように準備中である。</li> <li>・ 5月の連休明けより地域包括ケア病棟をコロナ感染者病棟に変更する予定。おおよそ14床。</li> </ul> <p>検体採取</p> <p>院内感染防止のため</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外来診療において、風邪・胃腸炎症状の方と一般診療の患者を分けて診察を行っている。</li> <li>・ 入院患者の面会を全面禁止している。</li> <li>・ 外来の受付時間を遅らせることで、待ち時間を短縮している。</li> </ul>

感染者発生時における対応手順の作成
家庭・地域医療センターで新型コロナウイルス感染疑いの患者の診療、検体採取、CT撮影等を行っている。 ・発熱など感冒症状の患者様は、電話連絡後自家用車内で待機していただく、あるいは、玄関外のインターフォンでお話をお聞きするようにしている ・職員の健康観察を実施している ・市内、県内の情報を共有している
病院院外での専門外来の設置
検体採取の外来を行っている。 実際に検体採取をする外来はしていないが、地域の発熱、風邪症状の患者をすべて拒否せず診療している。実際に診療後に別施設で検体採取されCOVID-19と診断された患者が1名発生し、のちに保健所の調査が入り、所長医師が14日間の自己健康観察対象となった。 慢性期患者への長期処方。感染症状を有する患者の時間差診療。有症状者の電話相談時の問診の徹底。エアロゾルを発生させない診察。訪問診療の縮小。不足するであろう个人防护具の作成。 施設内ゾーニングの職員間共有。 既に検体採取の外来を行っている。 ・発熱等風邪症状のある患者の外来時間の制限（診察時間を設定） ・発熱等風邪症状のある患者とそれ以外の患者の、出入り口及び診察室の分離
帰国者・接触者外来を設置し、検体採取の外来を行っている。 受付のシールド設置、職員の防護マスクと眼鏡又はゴーグルの着用、手洗いや手指消毒の励行、施設の清掃やアルコール消毒、外来患者全員の体温測定及び発熱など有症状者の別室隔離、症状の安定した患者の長期処方、三密の所を避け、医療機関へ不必要な受診を控える指導、新型コロナウイルス感染症疑いの患者のドライブスルー方式の診察の実施予定。
感染症協力医療機関として帰国者・接触者外来の設置。 発熱や咳等、かぜ症状のある方について、まず診療所に電話相談をし、時間を決めて午後を受診をしてもらっています。 熱のある人とない人の診察時間を分けています。 第二種感染症病床4床。帰国者接触者外来の設置。 疑い例を診察し、保健所の帰国者・接触者センターに連絡して、感染症外来へ紹介した。（2例）
感染の予防対策（来院者の検温、病棟の閉鎖、面会中止、外泊・外出の中止など） ・発熱者は駐車場やガレージで対応している。 ・疑わしい患者の診察は、シールド付きマスク・ガウン・手袋を着用している。 体温チェックと手指消毒は全員に行ってから入室してもらっている。
隔離部屋2室の確保 発熱外来（PCR検査はしていない）を別に作って、動線と別室を用意し、マニュアル作成し実践中。 ・病院玄関で検温を行い、発熱者を個室、ブース(仮設)に隔離している。 ・薬の長期投与を実施している。
発熱患者の院内での動線を、他の患者から遠ざける ・一般外来患者に対しては、慢性疾患で変化なく、特に問題の無い患者には診察なしで投薬だけをしている。 ・外来受診者に対しては全員、直接待合室に入らないよう衝立で仕切りを作り、手を消毒させ検温してから、待合室に入ってもらっている。 ・発熱患者に対しては電話やインターフォンで対応し、出来るだけ接触しないようにしている。
・基本的な感染症対策(手洗いや咳エチケットなど)の徹底 ・待合室、受付及び会計カウンターの消毒 ・看護師、事務職員の体温管理(37度5分以上は出勤停止) ・防疫活動に関する対応マニュアルの策定 ・基本的な感染症対策(手洗いや咳エチケットなど)の徹底 ・待合室、受付及び会計カウンターの消毒 ・看護師、事務職員の体温管理(37度5分以上は出勤停止) ・防疫活動に関する対応マニュアルの策定
受付窓口にはビニールカーテンを設置し感染予防をしている。発熱、咳等疑わしい患者の診察発熱外来又は車中で行っている。 ・感染症の疑いのある人は、感染症診察室で対応 ・必ず電話をしてから受診してもらう ・窓口では、感染症予防のため、アクリル板にかわるものを貼っている ・今週より電話再診を実施している
歯科医師会から届いた、コロナに対する「問診票」に従い、海外渡航の有無、過去14日以内に近隣都道府県に行ったかなどをチェックしてます。患者の体温も測ってます。
接触者外来を行っている。入院を受け入れている。 定期処方希望の患者の場合、電話による診療を行い人が密接しないように努めている。 ・来院者全員を病院正面玄関外で検温を行っている。 ・病院に来院する患者、業者等全ての方にマスクの着用をお願いしている。 ・発熱者等、風邪症状がある患者については、施設の外で問診を行い診察を行うか新型コロナ相談窓口等への連絡を行っている。 ・発熱者が待機しているときのトイレを専用にして、導線も一般の患者等と接触しないようにした。 ・入院している方の家族等の面会等について制限している。
56日の薬の処方（なるべく診療所へ来ないように）
2月から帰国者、接触者外来を設置している。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・発熱症状等の患者さんについて隔離された診察室での診療</li> <li>・換気</li> <li>・手すり等の消毒</li> <li>・来院患者の検温、情報提供</li> <li>・定期通院患者への3か月処方</li> <li>・診療継続計画の策定</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・発熱外来</li> <li>・各種院内感染予防（面会謝絶、病院入り口の一本化、入来者の検温など）</li> <li>・感染指定病院の後方支援（コロナ感染症の入院患者が増えた場合）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>※感染指定病院の病床数を鑑みた他疾患での入院患者の受け入れ（転院）など</li> <li>・病院の出入口を1箇所にし、玄関にて事務と看護師により入館者全員の検温と問診を行っている。発熱等の症状があった場合は、院内に入らない経路で発熱者用の診察室へ案内をする。</li> <li>・歯科口腔外科において、緊急を要しない抜歯等の処置を延期又は中止している状況です。</li> <li>・健診において、呼吸機能検査、胃内視鏡検査を延期又は中止している状況です。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症疑い患者の外来診療、放射線検査、検体採取を実施している。</li> <li>・その開始に併せ、一般の慢性疾患に関し、電話診療を実施している。</li> </ul>
<p>すでに検体採取の外来を行っている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期受診患者の対面診療を可能な範囲で電話再診に変更。</li> <li>・風邪症状を有する患者及び新型コロナウイルス感染症疑い患者は、隔離や往診対応とし対応職員を限定し他職員や他患者との接触を極力避けるようにしている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・発熱外来</li> <li>・駐車場確保</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話での問い合わせの場合、電話による問診を行い、来院した場合、玄関や車で待機のうえ電話による問診、窓口まで来た方には、個室に隔離の上、感染対策を行ったうえで問診。いずれの場合も感染疑いがある場合は、帰国者・接触者相談センターへ連絡。</li> <li>・受付の飛沫防護シート設置。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・感冒様症状のある患者は、入室せずに電話で相談することを徹底（玄関前に掲示）。</li> <li>・患者、取引業者は、建物に入る前にアルコール手指消毒をする。</li> <li>・職員の始業時・終業時の健康確認。</li> <li>・感冒様症状のある患者と、一般患者の動線を分ける。</li> <li>・安定した慢性疾患患者の処方日数の延長。</li> <li>・電話再診。</li> <li>・院内処方薬在庫の確保。</li> </ul>
<p>外来待合での密集の軽減のために、電話で希望があった場合、時刻を指定して電話の前で待機してもらい、電話再診を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ疑い患者専用の診察室を設けている</li> <li>・患者の受診時に風邪症状がある場合は、一般患者とは別の場所で待ってもらう</li> <li>・一部電話による受診を受け付けている</li> <li>・外来患者の出入口を正面玄関の身になっている</li> </ul>
<p>など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発熱者・接触者外来にて、必要時PCR検体採取を行っている。</li> </ul>
<p>感染に関して疑いがある来訪者については、一旦外で待たせて、電話による担当医師の相談、または相談センターへ電話で相談するように指示している。</p> <p>感染症患者等の直接対応ではないが、対策の一環として発熱外来の設置、入院患者への面会禁止、来院者全員の検温の実施を行い、入口での防止対策を実施している。発熱外来では、一般外来を担当する医師・看護師が対応するため、PPEとして帽子・アイシールド・サージカルマスク・ガウン・グローブを装着している。</p>
<p>接触者外来にての診療・検査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院協力医療機関として入院準備をしている</li> <li>・帰国者・接触者外来の設置</li> </ul>
<p>PPEを用意している。検体採取は可能。</p>
<p>発熱、せき、鼻汁、のどの痛み、嘔吐（おうと）、下痢（げり）などの症状がある疑い患者について、市民病院の「夜間・休日専用出入口」付近にある臨時的診察室において診察を行っている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療所入室時、手指消毒の徹底</li> <li>・受付時、患者様全員に対し検温の実施。風邪症状の有無の確認</li> <li>・風邪症状の患者様と一般患者様の待合室を別に確保（場所がないときは車で待機してもらう）</li> <li>・診察後の室内換気</li> </ul>
<p>患者全員に体温の計測。発熱、咳症状のある患者は別室（診察室兼待合室）を分けている。</p>
<p>非公表となっているが、保健所からの依頼で、「帰国者・接触者外来」を設置。PCR検査の検体採取を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰国者接触者外来を設置し、検体採取を行っている</li> <li>・感染者の入院受け入れのため病室の確保を行った</li> </ul>
<p>コロナウイルスが疑われる場合には保健所に連絡する体制をとっています。当施設では検体採取等は実施していません。</p>
<p>帰国者・接触者発熱外来を設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院患者への面会の禁止</li> <li>・発熱など症状の訴えのある患者への車内での待機、別室での診察</li> <li>・職員の体調管理（検温・報告）</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準予防策の実施</li> <li>・外来患者の検温</li> <li>・風邪症状、熱発などのコロナウイルス感染が疑われている患者は、院外で問診を実施</li> <li>・隔離部屋の確保。また、コロナ疑い患者の診療までの導線の確保</li> <li>・PCR検査の為の検体採取</li> </ul>
「帰国者・接触者外来」の開設。開設時間は平日15時～17時で、時間外・夜間は対応不可。
入院患者の受入、外来での検体採取
診療所入り口にて、患者様の体温を測り、手指の消毒をしていただいております。
PCR検査、入院加療は不可だが、発熱等症状がある方とそうでない方をしっかり区分けしている。
新型コロナウイルス感染対策のお願いについてのチラシ等を作成し、村内に随時毎戸配布した。発熱や風邪症状の方は、来院する前に、まず電話をいただくように徹底周知に努めた。来院の際には、感染予防のため車での問診・診療を行っている。
院内の消毒 発熱者や風邪症状の問診票の作成し利用している。
新型コロナウイルス感染者の受け入れは出来ない状況ですが、感染症対応フローを作成し、電話での問い合わせや直接来院した場合等幾つかのパターンを作成しそれに沿った対応を行っている。また、院内に発熱外来はあるが動線を考慮し、院外に近々プレハブ小屋を設置し診察場所として対応予定。
帰国者・接触者外来としての対応
コロナ類似症状（発熱等）の受診者と一般受診者を分けて診察するため屋外に専用ブースを設置して対応している。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安定している患者の長期処方（外来患者数を減らすため）</li> <li>・玄関の外にインターホン設置（体調不良者に屋外で対応するため）</li> <li>・オンライン診療時の対応について調剤薬局と確認（処方の受け入れについて）</li> <li>・屋外に発熱外来を設置</li> <li>・受診時間の調整（一般外来終了後に受診）</li> <li>・患者の動線をボード（ついたて）で区切る（レントゲン撮影時）</li> </ul>
院内に発熱等風邪の症状がある方を別に診察をする発熱者外来を実施している。
発熱患者を院内トリアージしている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来と入院エリアの隔壁等による分離</li> <li>・消毒液の設置及び注意喚起掲示</li> <li>・毎日の清掃</li> <li>・スタッフのマスク着用</li> <li>・受信前の電話相談</li> </ul>
非公開ですが接触者外来を設置し、帰国者・接触者相談センターからの紹介患者の検体採取を行っている。入院患者との面会禁止。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段行っている感染防止の手洗いや消毒などのさらなる徹底</li> <li>・有症状者に対する対応マニュアルの徹底</li> <li>・職員発症時や濃厚接触時の対応マニュアル作成と徹底</li> <li>・感染症の症状がある方専用のインターホンを玄関に設置し、院外から感染症専用入口へ誘導している。</li> </ul>
コロナ感染者の入院受け入れの準備をおこなっている。
これまでに感染患者を直接診療した経験はないが、当県を含め感染確認者が日々増加するなかで常に遭遇する可能性を念頭に置き診療している。設備のない無床診療所のできることに限りがあるが、実際には①地域の患者の感染症の不安に対する相談業務、②有症状者ですでに保健所等に相談したが一般の医療機関にかかるようにと判断された患者の診療にあたる、などを行っている。対応にあたり、待合室に患者が集まらないよう車内で待機いただき順番にお呼びする、待合室内で距離をとるような座り方に協力いただく、（完全な分離は困難であるが）有熱者の出入り口や導線を一般診療者と別にする、などの工夫のうえ行っている。
一般外来患者と発熱、かぜ症状の患者との外来入り口、診察室を分けている。明らかな新型コロナウイルス感染症の方の対応はしていない。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・区内放送や町内会の会において発熱や風邪症状の方は診療所に電話をしてから車内で待機をすることを周知させる。診療所の玄関には同内容の看板を立てている。</li> <li>・患者には全員マスクをさせ、ない人には1枚10円で購入してもらいサージカルマスクをさせている。</li> <li>・待合室では2mの間隔をあけて座るように印をしている。</li> <li>・発熱や風邪症状の人は別の時間に来院させ、感染防止のため別室で完全装備で診療をしている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の指示で、新型コロナウイルスPCR検査を行政検査として実施している</li> <li>・外来者全員の検温</li> <li>・外来（有熱者）と、入院患者へ、行動歴、症状等をトリアージしている</li> </ul>
検体採取を実施。コロナ感染者の入院治療を行っている。その他、有熱者外来を設置・運営している。
基本、診療所の外で診療をしている。（防具などをして）検体検査は行えないことになっているし、行う必要あれば保健所へ連絡する。
面会制限、発熱トリアージ、開錠時間の短縮等
帰国者・接触者外来の設置
院内感染予防（換気・面会制限・入口の一本化など）

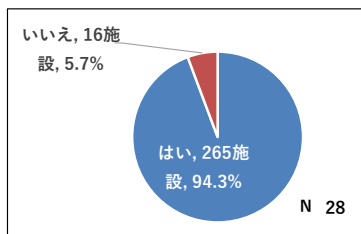
長期処方、電話再診、診療時間の延長などで、待合の患者数を少なくしている（原則すべて予約制）。感染症の方は車で待ってもらって、予約患者のいない時に別の入口から入ってもらう。
<p>接触者の外来を行っている、コロナ感染者の入院治療を始めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発熱やせきのある人は、施設内に入れず、離れた場所に対応する。</li> <li>・発熱やせきのある人の診察は防護服を着る。</li> </ul>
<p>帰国者・接触者外来を受け持っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰国者・接触者外来の開設</li> <li>・感染症病床4床、コロナ患者の受け入れ</li> </ul>
既に検体採取の外来を行っており、コロナ感染者の入院治療を始めている。
第2種感染症指定病院（感染病床4床）として、玄関前トリアージの実施。接触者帰国者外来を実施。入院治療も実施中。必要時には一般病床5床を専用病床として確保。
診察場所を屋外に設置。CT後、疑わしい患者の検体採取。
新型コロナウイルス感染の疑いがある患者については、入口及び診察室を別に設置し、一般外来受診者との接触を避けている。
帰国者・接触者外来を設置し、患者対応及びPCR検査の検体採取を行っている。1病棟を新型コロナウイルス感染者専用の病棟に改修し、入院治療を行っている。
<p>病院玄関でトリアージを実施し、症状等でトリアージされた患者を有熱外来で診察・検査等を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病棟原則面会禁止としている。</li> <li>・正面玄関のみを入口とし、全員に検温を実施している。</li> <li>・発熱外来を設置している。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症患者入院受入れの体制整備を進めている。</li> </ul>
一般的な予防対策のみです。マスク、手指消毒、かぜ症状、発熱患者の別室、時間差対応、換気、環境整備、スタッフの健康管理など
発熱外来と検体採取を行っています。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療所敷地にプレハブを設置して発熱外来を実施している。</li> <li>・電話により定時薬の処方を行っている。</li> <li>・必要に応じ、保健所へ連絡、相談している。</li> <li>・風邪症状の患者への対応は、インフルエンザと同様にしている。</li> </ul>
電話連絡を受けた場合、電話での問診を行い診察時の接触時間の短縮を図ります。発熱等の症状のある疑い患者様の診察は、一般外来とは別の部屋での診察を行っていますが、入り口からの動線が重なるため、車中での診察を検討しております。来院時は車の中でお待ちいただいておりますが、徒歩での来院も考えられるため、空いている医師住宅での診察を考えております。
既に検体採取の外来を行っている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・発熱等風邪の症状がある場合は、事前に電話での問い合わせさせていただき、市民へ周知</li> <li>・入口に職員1名を配置し、体温測定や症状、疑いのある人との接触の有無などの聞き取りを実施</li> <li>・発熱等風邪の症状がある場合は車に待機し、一般の患者とは別の部屋で診察。場合によっては、医師が車に向かい診察</li> <li>・入院患者については面会禁止</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・入院患者に対する面会を原則禁止</li> <li>・病院職員の県外移動の制限および報告義務</li> <li>・出入り業者の館内での行動制限</li> </ul>
発熱等の風邪症状がある方の専用受付を設けて一般外来とは別の場所で診療し、インフルエンザ検査やPCR検査を実施している。予約外の患者については事前連絡のうえ診療している。入院患者への面会を制限している。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付で発熱の申し出があった場合、事務担当がマスクやフェイスシールド等の防護具を身につけ問診対応。問診点数に応じて、食堂に設けた感染予防室で対応するか、発熱外来のある医療機関受診を勧めるかを判定する。</li> <li>・送迎者による対応の場合は、乗車する方全員に検温を依頼し、37度以上の熱がある場合は乗車を控えていただき、クリニックへ連絡いただくよう依頼。車内は換気や消毒を徹底する。</li> <li>・なお、問診票への記載は感染予防のため、原則スタッフが行う。</li> </ul>
これまで2件の検体採取を行った。
通常より長期処方とし、待合室の混雑を是正しています。

(▼「いいえ」と回答した施設の自由記載欄)

一般的な手指消毒の設置等に留まっている。
玄関に防護衣、マスク、フェイスシールドをつけた看護師が立ち、2週間以内の①感染地域への訪問歴、②感染地域訪問者との接触歴を問診。③体温測定を実施。 ①②のいずれかがある、または体温が37.5度以上の患者さんについては車で待機してもらい、医師が電話で問診。必要であれば車で診察。①②③でコロナウイルス感染症が疑われる患者さんについては、自宅待機してもらい、発熱外来または帰国者接触者センターを紹介。待合室の椅子は間引きして、隣との距離を開けるように配置。診療所の玄関は看護師が立っていない時間は閉鎖。定期的に換気、次亜塩素酸水の噴霧器を配置、定期的に次亜塩素酸水で消毒。診療所を閉鎖しなければならないことになってはいけないという町からの要請で、コロナウイルス感染症が疑われる患者については診療所内に入れないようにしています。
当方では、検体採取の検査や陽性判明者への対応は現在なし。(発熱相談外来は、一般外来と別の枠を作り、時間と場所で分けています。)
診察や検体採取の予定はないが、無症状感染者等の受診による暴露対策は行っている。全患者への検温、入館前のチラシによる告知、待合のパーテーションの設置、受付カウンターにおける遮断透明シートの設置、感冒症状の患者と一般患者との別動線による診察対応、感染症疑い患者の診察時における遮断透明シートによる防止対策、新型コロナウイルス感染症対策マニュアルの作成・見直し、館内各所における消毒用アルコールの設置、来所者に対するマスク着用の声かけなど。
予防に対する対応。電話相談があれば対応。
・施設入口での検温の徹底 ・味覚嗅覚の有無 ・船員健診の中止
歯科からの感染拡大が非常にいわれており、今後の診療並びに職員の感染がともに不安である。まだ、こちらでは感染の報告はないが、いずれあるだろうことが非常に恐ろしい。



2 新型コロナウイルス感染症に関して、今後不安な点はありますか。



▼「はい」と回答した施設の自由記載

市中感染が確認されている中で、職員からクラスターが発生しないよう体調管理に気を付ける必要がある。また、感染が拡大した際に、患者の受け入れ時に使用する医療機器の整備が補助金の内示後となるためまだ十分な体制をとっていない。
医療者が感染したときの人員の補充が得にくい又は得られない。
・実際に感染の疑いのある者が来院した場合の対処（その者の隔離方法、その後の消毒、クレンジングの一次閉所等）
・診材の入荷遅れ
・スタッフへの感染等、クラスターの発生
・防護具の不備
防護服等がなく、今後患者が増え、来院した時の対応が難しい。
不安なことばかりです。上記のような対応はしていますが、県内でも感染経路のわからない患者が出始めており、無症状の感染者が入ってしまうことを防ぐことはできないと思います。上記のような対応をいつまで続けなければならないのか。防護衣も、マスクもフェイスシールドも消毒薬ももちろん足りません。
・マスク、消毒液、防護服等の不足
・価格の高騰（やっと来たマスクは以前の10倍になっていたが購入せざるを得ない）
・院内感染により外来閉鎖や病棟が機能しなくなる
・風評被害
・高齢患者は閉じこもりにより、病気や身体機能の悪化が起きている
必要な物品の不足
・医師・看護師の人員確保、疲弊、ストレス対策
・陰圧等環境が十分でない
・風評被害
当院は構造上、一般患者と感染症患者の動線を完全に分けることができない。現在は来院者全員に手指消毒と検温をしてもらい、発熱者には一般患者とは別待合で待機後、診察しています。しかし、自覚症状のない新型コロナウイルス感染症患者が来院した場合の対処方法はなく、そのような患者が来院した場合に感染リスクを低くする手立てがなく不安である。
・マスク、アルコール、滅菌ガーゼ等の医療資源が徐々に減少
・新型コロナ感染を恐れるあまり、慢性疾患のある患者の通院が途絶えてしまい病状が悪化してしまわないか。
受入に当たり、医療材料等の不足が心配。
やはり、オーバーシュートした場合には、一般の医療機関にも患者が押し寄せてくる可能性があります。その時に、対応できるのか不安があります。また、職員に、感染者または濃厚接触者が来た場合には、慢性疾患で定期に通院している患者などはどうすればいいのか、悩むと思われる。地域の末端の医療機関が次々に閉鎖に追い込まれる状況になると、地域医療も医療崩壊してしまいます。そうすると、コロナの直接の患者だけでなく、他の疾患での重症者や死亡者も増加してしまうと思われます。
もし疑いのある患者さんが見えた時には防護服等身を守る物が無いのが不安です。
〇〇地域では、重症者については△△病院、軽・中等症の患者については、□□病院を中心に受け入れることとし、公立病院である●●病院、▲▲病院については、これらの医療機関に協力していくことが、医師会や保健所、各市町との間で確認されている。しかしながら、●●病院及び▲▲病院にあっては、いずれも感染症指定医療機関ではない。感染症に対する専門的な知識を持つ医師や看護師などが不足（又は不在）していること、新たに感染対策のための設備を整備する必要があることなどの課題がある。また、感染症疑いおよび感染症患者の受け入れをする事になれば、マスク・防護服等の利用は現在よりも頻回となり、不足する事は明確である。職員の安全確保のためにも、物品供給を保障して頂きたいものである。
医療物資の供給不足。職員への感染による診療休止。
今後のコロナウイルス患者の増加に伴い、非常事態の長期化が予想されます。診療所スタッフに限らず、アルコール消毒液やマスクの不足が心配です。
現状がさらに悪化していった場合、院内感染のリスクの向上、新型コロナウイルス感染者の入院対応によりマンパワー不足のため病院職員の疲弊による医療崩壊等。
入院治療が必要になった場合、通常入院患者対応のほかに1チームを別に作る必要があるので職員不足で、通常診療に多大な影響がある。また、重症例で呼吸器管理や集中治療が必要になった場合には感染病床がICU様式になっていないので、対応困難。
感染症病床は確保されていないが、公立病院として受け入れ要請があり、脆弱な設備での対応をせざるを得ない。

<p>・高齢者の患者が多く、自分が感染していると思わずに通常の行動をとり、他の患者と一緒に患者バスに乗ってこることが考えられる。個々の新型コロナウイルスに対する意識の高揚を図るための、より良い方法はないものか。</p> <p>・診察介助等に対応した患者がPCR検査で陽性になった場合、その結果を私たち医療スタッフに伝達してくれるのか。</p> <p>・流行地域からの帰省者から、一気に感染者が増える可能性があると思われるが、検査体制と感染ベット数、軽症者の滞在する場所等が県、市として決定されているか。</p>
<p>マスク等の備蓄がいつまでもつか。職員が感染した場合、診療が継続できるか。多数の感染者が発生した場合、どのように診療を継続するか。重症化した患者が多数発生した場合、どのように当院周辺地域では今のところ新型コロナウイルス感染症の患者は少ないですが、今後増えてきて当院でも受け入れが始まった場合、スタッフ不足や設備の問題があるほか高齢の入院患者が多い為、院内感染の発生が懸念されます。</p>
<p>・当地域は発症していないが、医師や看護師など医療資源が不足している中、もし多数の発症者が出た場合、軽症者の自宅待機ができない場合はどこに隔離するのか？医療体制をどのようにしていくかが課題。</p> <p>・いつ終息するのか、職員のストレスも大きい。</p>
<p>N95マスク、長袖ガウン（ディスポ）、フェイスシールドが不足し、とても不安である。</p>
<p>医療資材の不足。職員の感染、及びそれに伴う外来休診。</p>
<p>今後、地域内で感染患者が増加した際に、感染症専門病床ではない病床で、軽症者、中症者などの入院を受け入れをせざるを得なくなった場合に、ハード（施設や資器材）面、ソフト（医療スタッフなど人員確保）面で、中小病院では限界があり不安である。</p>
<p>・医療従事者のマンパワー不足。発熱外来と感染症入院患者の治療、一般診療とスタッフはすでにオーバーワークとなっています。</p> <p>・職員への感染リスクが心配です。いくら完全に感染防止をして治療していても感染リスクはゼロではありません。外来・入院患者が増えるほどリスクは高まります。感染したら、本人と濃厚接触者を休ませると病院はまわりません。優先順位を付けて最低限の診療のみ継続するしかないと思われま。</p> <p>・職員への疲弊（モチベーションの低下）。特にマスコミ報道による病院での感染報道については、是非やめていただきたい。</p> <p>・リスクを背負ってしている以上、ある程度医療従事者は感染はやむを得ないと思います。病院名・職種を公表して何か感染防止に繋がるとは思いません。</p>
<p>患者および歯科診療所が入っている建物（保健福祉センター：内科、介護事業所、社会福祉協議会）スタッフから感染者が出ると、保健福祉センター自体の機能を失うことが予想されるため。</p>
<p>マスク、アルコール消毒、防護服、ゴーグル等が不足すること。新型コロナウイルス感染症疑いの患者への対応。当時は高齢化率が高いため、自家用車が家になく、公共交通機関で受診する町民も多い。そのような方が感染疑いとなった場合、家に帰る手段、感染者外来に行ってもらう手段をどうしたらよいか難しい。</p>
<p>・濃厚接触者濃厚接触者が出た場合の対応</p> <p>・職員が自宅待機となった場合の対応</p>
<p>・PPE、アルコール類等の物資不足</p> <p>・物資が不足する中でのCOVID感染のリスク</p>
<p>医療消耗品不足、職員の疲弊。</p>
<p>感染者が来院してしまった場合、閉鎖ということになりかねない。その場合、現在通院中の患者さん（高齢者が非常に多い）を診てくれる病院が地域にない。職員の子供（小学生以下）が学校休校により自宅待機状態であり、今後休校が長引くようであれば、勤務体制にも影響がでてくる。</p>
<p>・職員や職員家族に発生することで長期欠勤が予測され、部署によっては病院機能の維持に関わる可能性がある</p> <p>・院内での発生はもちろんのこと、コロナ感染者を受け入れただけで風評被害が生じる可能性がゼロではない</p>
<p>アピガンを50カ国に無償で提供して、日本に残っているのか。</p>
<p>外来患者および職員に感染者が出た時の対応について（休診・施設消毒）</p>
<p>・無症状、軽症（軽いかぜ様等）の保菌者が来院する可能性があり、使い捨てガウンやゴーグルを使用したいが無い。</p> <p>・医師、看護師が感染し診療が出来なくなる不安は大きい。（感染拡大地域から来島されている方々が少なからず居るが、2週間の待機等はしておらず外出している現状。潜伏期の保菌者が来院している可能性はあると考えています。）</p>
<p>・医療物資の枯渇</p> <p>・感染者拡大による病床、医療従事者不足</p>
<p>・院内感染</p> <p>・衛生用品の不足（アルコール消毒・マスク等）</p>
<p>地域内でも新型コロナの感染者が増加し、収束の兆しが見えない中、対応にあたる関係者の負担が大きい（感染対策・感染予防）。また、衛生用品がなかなか入ってこないため、新型コロナだけでなく、院内での感染症対策も十分ではない。いつまでこの状態が続くのか、先行きが見えないことも不安である。</p>
<p>・ガウン、マスク等の医療材料不足</p> <p>・医療従事者の感染に対する不安</p> <p>・院内感染</p> <p>・感染発生に伴う収入減</p>

職員の感染・院内感染
感染患者数が大幅に増加した場合、入院医療提供体制整備のために感染症指定がされていない医療機関に対してどこまでの対応が求められることになるのか不安がある。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワクチン・特効薬等の開発までの感染拡大時への対応</li> <li>・地域のリアルタイムな情報提供</li> <li>・医療従事者が感染した際の対応</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者、職員がいつ感染するのか</li> <li>・物資がいつまでもつのか</li> <li>・いつ終息するのか</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・下記資源不足</li> <li>・職員に感染者が発生した際の診療体制</li> </ul>
N95マスク等感染予防品の不足
感染の物資不足は大きいのが一番です。細かいことをいうと歯科は休業対象にはならないと思うが、診療制限をしていて患者減少は予想される。しかし当院は公設民営ということもあり固定費はかかるので長い期間になると採算に問題がある。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点においては、支障は生じていないが、今後学校の休校措置の継続や緊急事態宣言などにより育児中の職員が就労することが困難とならないよう、学童を含む保育環境の維持確保について。</li> <li>・当院はパートの麻酔科医を補うことにより体制を維持し手術を実施しているが、緊急事態宣言によりパート麻酔科医の派遣が停止された場合には現在の手術体制を維持することは困難となることから、代替麻酔科医の確保への課題。</li> </ul>
施設内発症や診療所（医師やコメディカル）発症までした時の体制維持（村唯一の診療所）
院内感染後の対応
市内での感染者発生
医師への感染（常勤医1人体制）及び医療従事者への感染。マスク等の供給不足及び価格の高騰。
院内感染の発生。（入院患者及び職員に対するもの）
情報の入手の遅れにより対応が後手にまわること病院内の感染が発生しないか、した場合の対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・院内感染</li> <li>・コロナウイルス感染者の受入要請（当院は、入院患者の平均年齢が85歳以上と高齢のため、感染者受入要請が来た場合は、リスクが大きいため）</li> <li>・当院も感染疑いの患者が2例発生し、いづれも陰性だったが、長期間の緊張感が続いているため職員の精神的負担。</li> </ul>
医療従事者の感染が一番不安である。地方の医療機関は医療従事者が不足しており、ぎりぎりの職員で通常の診療を行っている。このような中に職員の感染により業務ができないと地域医療が回らなくなる。
防護服不足（ガウン、フェイスシールド、マスクなど）
医師及び看護職員への二次感染
マスク・手袋・ガウンなど感染予防の消耗品がいつ入ってくるのか分からない状況で、今後医療従事者及びスタッフの感染予防がどこまで守れるのか。また、院内感染に繋がらないのか。医療スタッフの中に妊婦もいる状況で日々不安を持ちながらの勤務を行っている。PCR検査が患者受付も含み、スムーズに行えていない現状に不安を持つ。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・防護具の在庫が少なく、医療機関内での感染リスクが心配です。</li> <li>・地域流行期になると、入院するベット、重症化した場合の受け入れ先がないのではないかと心配している。（ガウン、マスク、フェイスシールド等）</li> </ul>
職員から感染者が発生した場合、地域の医療が崩壊する危険あり。近隣の感染症受け入れ施設が飽和状態になった場合、当院でも感染者を受け入れなければならない可能性があるが、実際には施設規模、スタッフ数から困難が予測される。
医師、看護師等に感染者が発生し、診療を休止した場合の地域住民への対応。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・不顕性感染者の存在。</li> <li>・感染経路不明の感染者が多いが、予防策が徹底できていない。</li> <li>・医療従事者、医療機器、医療用具の不足。</li> <li>・独居高齢者に症状が出た場合の対応がスムーズにできるか。</li> <li>・感染が拡大した場合、病床が足りない。</li> <li>・通常の入院外来診療が困難になる。</li> <li>・コロナ対応による減収。</li> </ul>
〇〇方面におられるご家族（息子さんや娘さん）が頻りに様子を見に家に帰られることがあり、患者さん自身に症状がなくても待合室などで他の患者さんと過ごされている機会が少なからずあり心配です。できればそのような方にも2週間程度は定期診察なども避けていただきたい心持です。
診療する側の防護服に余裕がなく、地域でクラスターが発生した場合対応が難しい。また国のPCRを行う診断基準では遅すぎる上に、診察する側の院内感染率を高める可能性から先日総理が発言されたPCR検査の拡充を各自治体単位で早期実現を目指していただきたい。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療従事者への感染</li> <li>・感染拡大に伴う従事者不足と医療提供スペースの確保</li> <li>・PCR検査が実施できるようにしてほしい</li> <li>・PCR陰性（偽陰性）の場合の対応</li> </ul>

<p>本診療所は高齢化率が非常に高い離島にあることから、コロナウイルスの陽性患者が出た際、高齢者を含む島内全体の動揺が想像できるが、コロナウイルス治療を行える医療機関はない。また、数少ない入院患者の島外への転院等も考慮しなければならず、問題は多岐にわたる。</p>
<p>感染者と疑われる人が受診した場合の対応等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衛生材料、特にマスクの不足</li> <li>・ 新型コロナウイルスの院内感染の危険性</li> <li>・ 職員またはその家族の新型コロナウイルス感染による病院機能停止の危険性</li> <li>・ 県内でパンデミックが発生した場合の専用病床不足の懸念</li> <li>・ 新型コロナウイルスの風評被害（病院に行ったら感染するなど）</li> <li>・ 入院患者、外来患者の減少に伴う減収</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人用防護具の不足と供給が不明な点</li> <li>・ 風評被害</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナに伴う外来、入院患者数の減</li> <li>・ 院内感染</li> <li>・ 家族との接触に対する不安</li> </ul>
<p>感染拡大が不安</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の新型コロナウイルス感染による外来診療及び入院診療の休止</li> <li>・ 近隣での爆発的な感染がおこったときの対応</li> <li>・ 診療支援に来ていただく基幹病院の新型コロナウイルス対応により、支援が受けられなくなることで診療所医師の負担増（現時点で支援が受けられなくなっている）</li> <li>・ マスク、消毒薬、ガウン等の医療材料が入手できず、十分な感染予防対策が取れなくなる</li> </ul>
<p>感染拡大に伴い、本院受診患者等が増加することで、受入れ体制が取れなくなるのではないかと いう点。</p> <p>患者が発生した場合や職員が感染した場合、へき地の小さな診療所では長く休診が続くこととなり、他の患者が診療を受けられない。近隣の医療機関までは遠く、特に高齢者や身体の不自由な患者は医療を受けることが出来なくなる恐れがある。</p> <p>院内感染リスク。医療従事者とその家族の心身の疲労。</p> <p>検体採取等で職員が感染するリスクが有り不安がある。また、一般外来患者の中に感染者がいてもおかしくない状況になったときの対応が難しいと感じている。当地域では感染症指定医療機関が有する8病床がいっぱいになった場合は当院で入院を引き受けることを要請されたが、陰圧室はなく一般病棟でどのように対応すべきか困惑している。疑いの患者さんに対しては、標準な予防策をとって診療しているが、それでも罹患しないか心配である。一般の患者さんの診療においても、知らないうちにウイルスをもらっていないか心配。ちょっとした体調の変化（微熱、だるいなど）でも、もしかして罹患しているのではと心配。</p> <p>無症状の人がいるため、知らず知らずのうちに感染拡大してしまうこと。</p> <p>現在は感染者の外来は無いが、いつ患者（または自分を含め自覚症状が無い方）が来院し、入院患者や医療従事者への院内感染発生が不安である。</p> <p>地域に1つしかない医療機関であり、Drやスタッフが感染者や濃厚接触者となった場合の休診対応が非常に不安である。（地域柄、高齢者世帯や独居世帯も多く、また、公共交通の便も悪い。加えて、感染拡大防止の面から、都市部で生活する子どもや親族の支援が受けられないことも想像され、他の医療機関への転院等が非常に困難になってくるものと考える。）また、県内のPCR検査状況の情報が入ってこないこともあり、疑似的症例の対応に不安がある。</p> <p>医療資源の不足や医療従事者のウイルス感染により適切な医療提供体制が図れなくなる可能性がマスクや消毒が不足している。</p> <p>職員にひとりでも感染者が出た場合、病院機能がマヒしてしまう。</p> <p>いつまで続くのが不安。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療材料の不足のため、入手困難である。</li> <li>・ マスク等、数量不足のため、再利用せざるをえない。</li> </ul> <p>感染対策について</p> <p>感染した患者が来院した場合の業務停止による風評被害。</p> <p>コロナの終息時期が見えず、医療用具の補充が難しくなっている。通常の診療ができなくなる恐れがある不安。特に歯科では、感染リスクが非常に高いため診療の限度を見極めるのが非常に困難である。</p> <p>医材料の供給不足が不安</p> <p>県内の離島地域は感染症に対応可能な指定医療機関の病床が少なく、〇〇町の場合、△△病院に4床あるのみである。そのため、新型コロナウイルス感染症に対する医療体制が整っているとは言えず、感染者が増えた場合、医療機関が対応困難になる可能性が大きい。</p> <p>かぜ症状で受診された場合、他の患者さんと区別して対応するようにしているが、日々状況が変化している。対応の仕方に遅れをとってしまうのではないかと不安である。</p> <p>本県は、別荘などが多く、流行地からの避難で多くの人が入り込むため注意を喚起しているが（パンフレットなど）、今後感染の広がりが心配。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不安にかられた来院者の対応で通常の診療に支障が出る。</li> <li>・ スタッフや家族の感染により就業できないことによる人手不足。</li> </ul> <p>発熱患者が多数来院、又は周辺地域にクラスターが発生した場合、不安を覚えた患者が受診した時の対応。</p> <p>軽症者の管理は、高次医療機関から一次医療機関である診療所へ移行していくものと思われ、妥当だと思われるが、防護服がないため対応に苦慮すると思われる。</p> <p>マスクやアルコール消毒、医薬品などの供給が滞りなく行われるのが不安。</p> <p>無症状患者からの感染。（4/16時点）（受診者の後日感染判明等）</p>

PCR検査の申し込み方法
<p>発熱患者等で、コロナ感染症を疑っても、検査ができず、保健所へ連絡するが、ほとんど検査できていない。当該地区の〇〇病院にて発熱トリアージ外来を行っているが、ここでも検査ができず、やはり保健所へ連絡しなければならない。</p>
<p>院内感染による、新型コロナウイルスの感染拡大。</p>
<p>職員又はその家族から発熱の者が出た場合、又は濃厚接触者が出た場合、診療所の運営に支障が出る可能性があり地域住民の生活に影響を及ぼしてしまう。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルコール等の消毒薬、マスク等、个人防护の資材が入手困難で長期化の場合外来が困難になると思われる。現在は手元にある資材を使い捨てしないで節約して使用している。</li> <li>・長期間の職員の健康維持。</li> <li>・定期患者には長期処方を行っており、医療機関忌避の傾向と相まって経営的な圧迫が起こりそうである。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフの罹患</li> <li>・風評被害</li> <li>・マスクや消毒液の不足</li> <li>・受診者減少（自発的な受診制限や長期処方による）に伴い今後収入減少が見込まれる。</li> </ul>
<p>感染しているかどうか不明の患者からもし医療従事者や他の患者に感染しないか不要である。</p>
<p>自分（医師）と職員が罹患した場合。</p>
<p>診療所で濃厚接触者が出た場合、診療所を閉鎖する場合はいかなる時か？</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・入院患者及び医療スタッフが発熱した場合は、接触者のあったスタッフを自宅待機させる必要があるため、スタッフの不足により患者対応が困難になる。</li> <li>・当院で受け入れる場合、現在は軽症者とのことであるが、陰圧空調部屋もなく、設備的に不十分なので、そこで感染対策を確実にやるのか心配。</li> <li>・NSも不足している中、感染患者の受け入れが進んでいくとマンパワー的に受け入れられていくのか。</li> <li>・高齢患者が大勢いる病院なので院内感染がおこれば、すぐに重症化する恐れがあるので不安。</li> <li>・スタッフ教育（統一した対応の周知をするにあたり、院内のシステムが未熟なため）</li> <li>・物品不足</li> </ul>
<p>都市部からの持ち込み。</p>
<p>医療崩壊により、すべての医療機関において患者の受け入れとなった場合、隔離するスペースなどが無いため、対応出来かねる。</p>
<p>診療所に新型コロナウイルス感染症患者が来院した場合の当院がすべき対応が大まかには把握しているが実際の流れが分からない。</p>
<p>診療材料の確保</p>
<p>発熱患者への対応。電話での診療の実施。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・院内感染を防止するための医療物資の不足。</li> <li>・施設の休止等により収入が減少し、経営難に陥る。</li> </ul>
<p>自分を含め職員が濃厚折衝者になった場合休診になるのか。</p>
<p>医療者が感染しないか心配。</p>
<p>感染者発生に伴う外来診療の今後、どのように対応していくのか。</p>
<p>新型コロナウイルスの感染者が今後増え続けると、病床や医療従事者が不足する恐れがあるため、不安である。新型コロナウイルス患者やその勤務先等への風評被害が増える恐れがある。</p>
<p>感染予防対策の防護具が不足している中で感染疑いのある患者（既に感染しているが陽性判定を受けていない者を含む。）が来院した場合、診療所の医師・看護師等が感染してしまうリスクが</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在所備蓄している感染症対策物品が減少している。</li> <li>・職員が感冒症状、感染症疑い時、自宅待機する対応によって、実働人員が不足する。</li> </ul>
<p>院内感染</p>
<p>入院対応をはじめた場合のPPEの確保。院内感染の予防が十分にできるのか。濃厚接触者の離脱によるマンパワー不足等。</p>
<p>職員が就業制限の対象となった場合、医師だけでなく看護師、事務員ともに代替人員が確保困難な状況である。したがって、一人でも就業制限となった場合、そのまま診療継続が困難な状態となり、日常診療に多大な支障を来すことになる。日常診療ができなくなれば、周辺に医療機関の少ない中山間地域では患者が医療を受けるのが困難となり、地域医療が維持できなくなる可能性がある。</p>
<p>高齢化率の高い地域であり、介護施設や医療施設で感染拡大した場合、重症化率も高くなると思われ、医療圏中心部の脆弱な医療機能を圧迫してしまうことが不安である。</p>
<p>診療所職員の家族には医療従事者が多く、自施設で予防を徹底していても家族から感染する可能性や、その逆の可能性もあるため、いつも気が休まらない。診療所がある地域ではまだ感染者の報告がないためか、新型コロナウイルス感染を疑う症状の患者を診て報告しても保健所で検査をストップされることがある。</p>
<p>現状、マスクや手指消毒用アルコール、PPE等の在庫は充分ありますが、新規入荷の目途は立っていません。今後、感染が拡大した場合に、不足するのではないかと懸念しています。</p>
<p>職員が感染した場合、外来休診や救急受入れ休止等を考慮し対策を立てなければならないと考えているが、当町で患者が発生した場合、大学からの医師派遣はどうなるのか、患者の受入れ要請はあるのか等、先が見えてこない不安がある。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・風邪症状で来院する患者が増加した場合、現在の少人数のスタッフで対応できるのかどうか。</li> <li>・家族等の感染により、スタッフが濃厚接触者となった場合、残りのスタッフで診療を続けること</li> </ul>

患者間および職員の院内感染が心配。風邪症状のある方と慢性疾患の方の入り口を別にしても、診察中に申し出るなど完全な隔離はできず、トイレ、X線室など動線もクロスする。電子媒体による非対面診療を行っておらず、院内処方のため、欧米のような爆発的な感染状態になった場合どこまでリスクを減らせるか不明。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスク、消毒液、防護服等の納入見直しも立たない状況下で診察を継続することの不安</li> <li>・病院経営の悪化</li> <li>・職員の体調不良やストレス等による人材不足の懸念</li> <li>・上記がもたらす医療崩壊</li> </ul>
新型コロナウイルス感染症の確定検査がスムーズに実施してもらえるのか不安です。
陽性患者の受入に応じて、院内感染の防止または一般患者への診療の影響等、地域医療の確保をいかに、継続していけばよいか不安である。
外来診療制限で診療収入の減少が起きています。出来得る限りの防護は行っていますが職員に感染者が出た場合診療を継続できるのか不安です。
マスク・フェイスシールド・防護服等が無く、いつまで診療を続けることが出来るかわからない。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症病床に入院した場合、無症状や軽症であればよいが、中等症以上特に人工呼吸器を要する状況になると、少ない医師・看護師数では対応できなくなる。</li> <li>・重症者を他の医療機関に搬送するための取り組みや手順の確認が事前に必要。</li> <li>・スタッフに感染者、濃厚接触者が発生した場合の医療体制の維持。</li> <li>・現入院患者に対する医療・看護を継続するための人員の確保。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在県内に感染発症は認められていないが、今後発生する可能性は高い。地域にはこの医療機関しかなく、通常の外来に混じって受診される可能性があり、そうした場合に感染を拡げずスタッフにも感染しないようにするためにはどのような対策をとればよいか不安を持っている。</li> <li>・外出自粛の中で、高齢の方の閉じ籠りによる不活性により、廃用が進むのではないかと不安がある。</li> </ul>
医師、看護師その他職員が感染した場合の病院の機能維持について不安を感じている。
僻地の診療所であり医師が一人のため、感染者が外来した場合、一般診療できない。
医療スタッフが感染すること。
どの患者が潜在的に感染しているか不明。簡易診断を早く普及させていただきたい。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内や管内でのクラスター等が発生した場合で、管内の感染症指定病院の満床になった場合、当診療所での受入れがどうなるのか。</li> <li>・万が一院内感染した場合。</li> </ul>
PPE（個人防護具）の不足。自身および職員の感染の危険。
情報が不足している。
患者が増加し、一般の病院でも対応しなければならなくなった場合の感染リスク
近隣自治体で発生事例があることから、自覚症状がなく来院されることが想定される。また、新型コロナウイルスの症状が有り、来院前に電話等で問い合わせがあれば、然るべき機関につなぐことが出来るが、問い合わせ無しで来院された場合、集団感染を引き起こす恐れがある。
地域でのパンデミック
現在、本県を含め当地域に感染者は出ていないが、隣接し生活圏である〇〇県〇〇市には感染者が出ている。私たちが所属する△△医療圏に今後感染が拡がり、中核で感染症指定病院である□□病院が対応しきれなくなれば当院も対応しなければならなくなる。一つの病棟しかなく、スタッフも少ない当院でどう対応したらよいか不安です。
患者からの感染（受付で問診、検温は実施しているが）、また自身が媒介者になることの可能性を、できるだけ対策を行うも不安を感じる。医療物資の備蓄が底をつく不安。
不安だけであるが、まずどこで感染するかわからないこと。また、不特定多数の患者との接触もあり不安である。対応策はとっているが、これで全てが防げるとは考えられない。
町内で感染者がいつ出るかが不安である。
町内で感染者がいつ出るかが不安である。
施設内職員が出た場合、診療不可能になってしまう。防護服やマスクなど不足している。
院内感染
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルスが蔓延してきた時の医療機関の対応</li> <li>・患者数の減少</li> <li>・コロナウイルスの患者がでたときの誹謗中傷や風評被害が多数見受けられるため、当院でも風評被害が懸念される</li> </ul>
無症状感染者がいるとのこと怖い気がします。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・防護具や消毒薬の不足</li> <li>・リネン類などの廃棄処分や器材等の新規購入などの補償</li> </ul>
PPEが全くない
<ul style="list-style-type: none"> <li>・無症状の患者が来院し院内感染が起きないか不安に思っている。</li> <li>・救急車で運ばれてきた患者の診療について、防護服等が不足しているため、感染予防の徹底が出来ず院内感染が起きないか不安に思っている。</li> <li>・転院や救急搬入した患者が肺炎症状があった場合、不安の中治療、看護を行っている。</li> </ul>
院内感染の不安
職員の配置、減収
高齢者の多い離島のため外部からウイルスが持ち込まれる不安がある。感染が疑われる患者が発生した場合の対応や搬送方法が確立していない。医師の派遣を受けて診療しているので、派遣を受けられなくなった時の診療体制が維持できなくなる。職員が1人でも感染すると医療崩壊する。

地域でのバンデミック
<ul style="list-style-type: none"> <li>・院内感染からの病院機能低下、停止</li> <li>・県からのコロナ感染症入院患者受け入れ要請（当院での患者治療は困難と考えられる）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常の来院患者については、検温や問診である程度防ぐことは可能かと思われるが、救急収容した方で行動歴等が不明の場合、感染への恐怖が拭いきれない。</li> <li>・衛生材料(サージカルマスク、手指消毒液、N95マスク等)、防護具の欠品や納品の遅延が生じており、院内感染防止対策の実施が難しくなつつある。また、緊急性の低い手術や口腔内処置の中止又は延期を行わざるを得なくなるのではないかと思う。</li> <li>・近隣の介護施設等でクラスターが発生した場合、介護サービスを利用している高齢者が利用出来なくなり、救急で運ばれるケースが多発するのではないかと懸念する。</li> <li>・外来患者の減少、健診業務の縮小、緊急以外の予定手術の延期等による収入が減少している。また、感染防止対策のための経費及び事務量が增加している。経営的に厳しいと思われる。</li> <li>・今後人員不足になった時、算定要件が満たせなくなった場合どうなるのか心配です。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者数の増加、感染等による職員数の減少による医療崩壊</li> <li>・新型コロナウイルス感染症患者の入院受入れによる、その他の外来及び入院の縮小に伴う、経営悪化</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・院内感染</li> </ul>
<p>地域住民は高齢者が多く、地区外から来られる家族の出入りで感染のリスクが高い。近隣にお店が無いため、必要最低限の買い物も遠出をしないといけないため、地区内で流行すると蔓延する恐れがある。その一方で、感染症に対する意識が低い。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内での感染の蔓延</li> <li>・院内感染</li> <li>・PPEの不足</li> </ul>
マスク等の資材不足
<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスク、防護服、ゴーグル、体温計等、感染者を診察する上で必要となる感染予防資材の不足。</li> <li>・医療従事者が感染した場合の定期受診患者の診療について。</li> </ul>
防護服、マスク等、衛生材料の不足
患者からの感染等、医療従事者の感染。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・診察時の防護服・マスク、消毒薬の不足。</li> <li>・職員が感染した場合のマンパワーの確保</li> <li>・入院ベッドの確保。</li> </ul>
発注しても入荷が見込めないことから。マスク、PPE、フェイスガードの不足が不安。職員に咳嗽、微熱などの症状が出た場合、自宅待機としなければならない、他の職員への負担が増す不安あり。
感染症治療の設備がなく、人員不足でもある。
〇〇病院から医師を派遣していただき週1回診療を行っているが、今後県内の感染者が増えた場合に継続して派遣していただけるのか。
衛生用品全て不足、枯渇
マンパワー不足、物資の不足、担当するスタッフの精神的な負担、院内感染など
COVID-19感染が、長期間になると予測される中、感染防護具（マスク・ガウン・手指消毒など）の安定的な供給体制の維持ができない。感染防護具が逼迫する状況で、一般病棟感染者を受入れる可能性があること。また万が一院内感染が発生した場合、慢性的なスタッフ不足の状況で病院機能を維持する体制がとれるか、通常の診療体制の維持が継続できるか不安。
現在のところ、本町においては感染者数は0であるが、医師及びスタッフは絶えず感染しないよう注意して診療に携わっている。
感染環境や感染者の状況が明らかになっていく中で、医療従事者の感染リスクも高くなっている。院内感染防止のためにもしっかりとした装備や対策を講じる必要があるが、必要な備品が不足していることが不安である。また、医療従事者やその家族が感染した場合に、現場のスタッフが不足し医療崩壊に繋がることも危惧されており、今後の診療継続に不安がある。
物資の不足や医療崩壊
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人防護具の不足</li> <li>・アルコール製剤の不足</li> <li>・職員・入院患者の発症</li> <li>・職員のメンタルヘルス</li> </ul>
感染者が発生したとき、外来診療が休止となったとき、患者さんの診療ができなくなること。
可能性の高い患者を診察した後に（PCR依頼後に）業務を継続してよいか不安。濃厚接触となった場合に僻地診療所を閉めてよいかという懸念。
今後、感染が拡大した場合における対応（外来診療の停止等）に伴う医業収益の減収等。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・十分な感染防止対策がとれない。</li> <li>・物品が不十分である（防護服、フェイスシールドマスク、マスク、アルコール消毒液などが発注しても入荷にならない。）</li> </ul>
患者等で感染者がいた場合、院内感染を起こさないかが心配。
院内感染及びマスク・ゴーグル等の医療材料の確保。

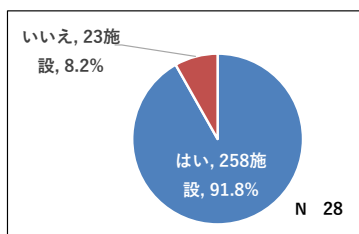
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来での対応、入院時の対応による院内感染発生の不安</li> <li>・無症状患者による感染拡大</li> <li>・自身が感染した場合、媒介者となることへの不安と恐怖（病院の運営への影響）</li> <li>・医療資材の不足（再利用による感染のリスク大）</li> <li>・医療従事者の確保（院内感染等により自宅待機等により職員が減少）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・当院は小さな診療所なので、症状がある患者と一般の患者の動線や空間が分けづらい。</li> <li>・今後さらに患者が増え、都市部の医療崩壊が起こるとへき地からも応援に行くような事もある</li> </ul>
<p>当診療所は、出入口が1箇所しかなく、一般の患者と導線を分けることができないため、感染の疑いのある方が来所した場合、他の患者と接触しない方法〔通常時間外の診察、建屋外（車庫内・車中）での診察等〕での対応を考えているが、通常の診療業務を行いながらの対応ができるのか、診療所スタッフや他の患者への感染を防ぐことができるのか、非常に不安である。</p>
<p>発熱や咳・痰などの症状、呼吸器症状などの患者には他の患者と接触しないよう、車中で待機していただき、診察しています。診察した患者が後にコロナウイルスに罹患していると判明した場合に、医師を含めたスタッフが濃厚接触者となることも考えられ、サージカルマスク等ははしても常に不安感があります。私たち医療従事者が濃厚接触となり、同居する家族への感染源になるのではないかと不安も常にあります。また、濃厚接触者となり自宅待機となった場合に、勤務するスタッフに余裕がなく、その場合の診療体制についての不安があります。</p>
<p>新型コロナウイルス感染患者の治療・受入れにあたっては、専属的に対応する医師、看護師などが必要となるが、医師不足により対応に充てる医師の確保が困難。常勤医師も少なく、呼吸器科の医師もいない状況。市内唯一の産婦人科があるお産ができる病院であり、また透析患者を約60人抱えている中での新型コロナウイルス感染患者の受入れた場合に病院施設をしっかりと分離できるか不安。また透析患者が感染した場合の透析室の分離や、コロナ感染した透析患者に専属的に対応する医師、スタッフの確保が困難。また防護服やマスクが入手できない状況であり、長引けば治療が困難になるとともに、病院スタッフへの危険度が増加する。新型コロナウイルス感染症患者は、病院のある市内で発生していないものの、外来患者が激減しており長引けば病院経営にも大きく影響が出る。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員（特に医師）の院内感染</li> <li>・衛生材料の不足</li> </ul>
<p>アルコール、マスク等の診療材料の在庫が少ないこと。</p>
<p>感染拡大がいつまで続くのか、終息時期が見えず不安。</p>
<p>受け入れる患者の増加に伴い、人・物・金の不足。外来、入院患者の減少に伴う収益悪化。患者・職員への院内感染の恐れ。</p>
<p>感染拡大の程度が目に見えないことが不安となる。発熱者だけでなく、無症状者を含め、徹底的な検査が必要と考えます。</p>
<p>最低人数の医療体制で診察を行っているため、医療従事者が感染した場合休診となり、地域医療に影響が出る恐れがある。</p>
<p>当診療所は地域における唯一の医療機関であり、住民のかかりつけ医としての存在であり、感染者拡大により休診・閉鎖等の事態になった場合近隣に代替え医療機関もなく、一瞬にして地域医療の崩壊を招く恐れがある。</p>
<p>当診療所は無床のため、基本的にはPCR検査や入院加療は不可なため、疑わしい症状を有する方の診療はしない方針ですが、どうしても飛び込みで受診される方がいます。その場合、標準感染予防対策の装備をして診療するわけですが、現在、ゴーグル、フェイスシールドは納品はなく、手袋、防衣、マスクは残り少なくなっており、その点が不安です。</p>
<p>新型コロナウイルスの感染者が実際に出た場合の対応に不安がある。</p>
<p>高齢者の慢性疾患の患者が多く診療所内の感染。</p>
<p>感染疑いによりPCR検査を行っている間、外来を閉鎖する場合と通常業務を行う場合の判断ができない。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナの更なる爆発的感染拡大により、感染者を受入れざるをえない状況となった場合等。</li> <li>・フェイスマスクの定期的購入の目的が立っていない状況。</li> </ul>
<p>陽性患者を受け入れた場合等の院内クラスターの発生。</p>
<p>防護服、ゴーグル、マスク等資材の不足。院内感染。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・急患や職員が罹患した際の対応（今後の診療継続）方法について</li> <li>・近隣の障害施設で罹患した際の対応について</li> <li>・オンライン診療の具体的な方法について</li> <li>・少人数のため業務を分ける等の体制がとれない</li> </ul>
<p>万が一町内で発生した場合、マスクやアルコール消毒液が十分に対応できるか。また、入院患者が感染しないか不安である。</p>
<p>サージカルマスク、アイガード、ガウン、消毒剤などの医療物資の調達について不安である。</p>
<p>地域で流行した場合に対応できない。</p>
<p>爆発的な感染者増加が起こった場合の対策や物資の不足。</p>
<p>感染者が来診した場合のその後の対応や、診療所の運営、職員等の処遇など。</p>
<p>今後の増大次第では指定医療機関にも限界があるため、当院などの施設規模への受入を余儀なくされる可能性もあり、その場合の対応策について。万が一、病院内で感染者が出た場合の対応診療体制の維持</p>



<ul style="list-style-type: none"> <li>・感冒症状で休職した場合の復帰時期を明確にできない</li> <li>・職員が新型コロナウイルス感染症に罹患した際の病院の運営について</li> <li>・新型コロナウイルス感染症が蔓延した際の病床数の確保</li> <li>・発熱した患者の診療拒否が増加している</li> <li>・新型コロナウイルス感染症が蔓延した際、病床を空けるため一般の入院患者の転院等が必要となる</li> <li>・疲弊による医師や看護師の離脱</li> </ul>
マスクや消毒薬などの医療材料の不足と納入時期未定。職員感染時や濃厚接触時の対処。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・軽症者や無症状の患者を一定期間隔離できる宿泊施設の確保ができるのか不安です。家族のいる方に対する自宅療養は、他の家族への感染リスクが高く、限界があると感じます。</li> <li>・当時は、介護を要する方がほとんどであり、軽症であっても誰かが介護にかかわる必要があり、上記宿泊施設のみでは不十分。</li> <li>・親（高齢者、独居）の介護のため、週末、感染報告地域から来町される方がいますが、これを制限してしまうと、介護者が不在となってしまいます。また、感染した高齢者を、通常の肺炎として取り扱った場合、院内感染になるのではないかと日々心配しています。</li> </ul>
終息が不明であるため診療等にかかる経費及び予防対策経費がどれくらいかかるか未知数であり、病院経営への悪影響が懸念される。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・PCR検査が必要なケースに迅速にできることで、陽性者の隔離が確実に進むようにしてほしい。 ・早期の抗体検査実用化により、抗体保有者（感染リスクの低い者）が不安なく診療にあたれるようになるとうい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・風邪症状等の患者への処置対応→玄関にインターホンの設置で一時対策中</li> <li>・待合室における3密状況の懸念</li> </ul>
独居、高齢者の多い地域であり、医療介護資源に乏しいこと、複数の医師、スタッフの確保が乏しいため、感染拡大により、安定的な医療介護サービスが提供できなくなる。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人防護具、手指消毒剤の不足</li> <li>・院内感染した場合の感染拡大、職員の確保</li> <li>・患者受入れをした場合の重症化予防</li> <li>・診療業務等縮小による収益減</li> </ul>
PPE材料の不足、人員の不足、職員の精神的・肉体的疲弊、人工呼吸器やモニター器機・血液透析器機などの不足、院内発生した場合の診療不安、感染者増に伴う病床不足、非コロナ感染入院患者の診療制限 など。
今頃、このようなアンケートが回っている事自体が不安といわずして何とこのかかと考えている。（国診協が悪いといっているのではないが）
衛生材料等（マスクや消毒用アルコールなど）の物資不足。
患者、医療従事者への感染リスク。
マスク、アルコール消毒液、防護服、ゴーグル等の不足。新型コロナウイルス感染症を診察するための医師・看護師の不足及び施設の確保が困難である。
院内感染からの病院機能低下。
医療現場でコロナウイルスの感染がおきること。
院内感染、感染者の増加による医療崩壊。マスクや防護服等の物資不足の中での医療の継続。看護師・医師の疲弊。
マスク、アルコール等のコロナ対策に必要な物品の不足。
陽性患者が出た場合のその後の対応。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガウン・N95マスク等、衛生材料の不足に対する不安</li> <li>・マンパワーの不足(看護師)に対する不安</li> <li>・患者数の増加につれて院内感染リスクが増加し、自分が感染してしまうのではないかと不安</li> <li>・医療現場に従事している自分から家族に感染してしまうのではないかと不安</li> <li>・日本中でパンデミックになるのではという不安</li> <li>・コロナ対応で通常業務・診療・救急対応が制限されており、今後その状態が一層悪化するのでは</li> </ul>
院内感染。職員も不安をもっている。
医師、看護師を始めとし、事務職員を含めてマンパワーの疲弊。マスク、消毒液、防護服、手術室で使用するガウン等の不足。間接的には、患者数の減少とそれに伴う減収。
へき地診療所における対応。
医師、看護師等病院関係者への感染。感染者を受け入れた場合の入院患者への感染。
患者さんのほとんどが高齢者で複数の疾患を伴う方も多く、当地域でコロナ患者が発生した場合の診療所としての対応等。
感染者が島内に出た場合、対応方針が定まっていない。
島への「コロナ疎開」と思われる帰省が見られるようになってきている。島民の高齢人口の基礎疾患を考えると都会と同等もしくはそれ以上の被害となる懸念がある。
PPEの不足。
感染疑いで保健所に連絡してもPCR検査対象とならず、地元の医療機関受診を勧められ当病院を受診する患者が多い。万が一、その中に陽性者がいて後に判明した場合を想定すると不安は大きい。検査対象の要件を緩和して多くの方のPCR検査を要望します。

<p>感染症指定医療機関ではない当院において、感染症患者の診療を行うことは、非常にリスクが高く、職員への負担、精神的な不安も非常に高い状態となっている。また、感染症患者を受け入れるため、外来や病棟の改修工事をせざるを得ない状況となり、急遽工事を行うほか、職員への危険手当の支給、時間外勤務の増加など、支出面の負担が増えている。さらに外出自粛による外来患者の減少、感染症患者受け入れに伴う入院制限、感染拡大防止のための手術制限、人間ドックの縮小など収入面で多大の影響が出てきている。公立病院としての責務は果たすべきと考えるが、収支への影響が莫大であり、財政的支援がなければ、病院経営はもとより地域医療の崩壊が懸念される。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症専用の病室がない状況で一般の入院患者と同じフロアで受け入れなければならない状況になる可能性がある。</li> <li>・ マンパワーの不足</li> <li>・ マスクや防護具・消毒液等の供給が安定していない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 院内感染への不安。</li> <li>・ マスクやアルコール消毒液、防護服といった物資の不足。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症患者が入院した場合、特別な人員体制を敷くため、その他の部署への勤務上の悪影響。</li> <li>・ 病床稼働率低下や健診部門、外来リハビリテーション等の休止に伴う経営への悪影響。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今は発熱患者も一般的に対応していますが、蔓延期に入った場合、このままの診療継続でいいのでしょうか？一旦山間部の診療所でコロナ感染者が出ると、2週間の休診を余儀なくされ、診療できなくなる可能性があります。蔓延期には、発熱患者を診察する医院を決めるという医師会の方針があるようですが、そういう状態に陥ったときの対応策はどうなっているのでしょうか。</li> <li>・ 診療所医師の自宅待機時の代診体制は？</li> </ul>
<p>当病院は、感染症病床を有しておらず、また周産期医療にも取り組んでいるところであり感染の持ち込みを最も警戒しているところである。</p>
<p>発熱、のどの痛み等を伴う受診については、保健所へ電話連絡をしてもらい、保健所から受診了承を得た患者を防護服等を着用し、発熱外来で診察しているものの、感染の不安は残る。また、診療所入口で検温を行い、一般受診者との区別を行っているが、家族が帰省している等の情報を隠して受診されることが不安材料である。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ インフルエンザ様症状の受診者がコロナかどうか分からない。PCR検査してもらえない。自身の感染の不安が拭い去れない。</li> <li>・ 環境上、1人の感染者やクラスターの発生を危惧する。</li> <li>・ 離島で、ハード、ソフトともに不十分な中、患者を守る前に、医療従事者の健康の維持に不安を感じる。</li> </ul>
<p>設備・備品等の無い状態のため、患者様が増加してきた場合の対応をする中で医療者側に感染が起ってしまった場合、診療所を閉鎖しなければならなくなる不安があります。そのような場合、地域の方々の医療の確保についても、不安があります。</p>
<p>離島唯一の病院であり、院内感染が発生した場合の確定患者とその他の入院患者、救急患者を含む外来体制、スタッフの確保が心配である。</p>
<p>アルコール消毒、防護服、ゴーグル、いずれも不足しており、再利用しなければならない状態であり、職員を守る感染症対策として十分とは言えない。</p>
<p>基本的に、感染の疑いのある患者は保健所と協議して対応するとしているが、直接来院する感染の疑いのある者への対応や院内感染の防止については万全の対応が取ることが難しく、不安である。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染拡大に伴う入院患者の受入れ要請があった場合の対応が不安だ。</li> <li>・ 現在、マスクやガウン、エプロン等の在庫はあるが、今後の入荷見込みが気になる。</li> </ul>
<p>歯科からの感染拡大が非常にいわれしており、今後の診療並びに職員の感染がともに不安である。まだ、こちらでは感染の報告はないが、いずれあるだろうことが非常に恐ろしい。</p>
<p>マスクや防護服、消毒液等の必要な消耗器材の確保</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消毒やマスク等が入荷できない</li> <li>・ 透析患者感染時の初期対応が難しい（構造上）</li> </ul>
<p>政府の指針に従います。</p>

3 新型コロナウイルス感染症に関して、国などへの要望はありますか。



▼「はい」と回答した施設の自由記載

マスク、アルコール消毒液の入荷が不安定で、ゴーグル等の入荷も未定であることから先の見通しがわからない状態である。また、上記の通り医療機器の整備も不十分であることから補助金の決定を急いでいただきたい。
・抗体検査による集団の中の免疫獲得者の割合をサンプル調査で出してほしい。 ・抗体検査で免疫を獲得した医療者とそうでない医療者を区別できるようにしてほしい。
・マスク・アルコール消毒剤についての確保 ・感染者等の来院時のマニュアルなど
フェイスプロテクター、ゴーグル、N95マスク、全ての防護具が不足している。
マスク、アルコール消毒、防護服、ゴーグル等の供給不足 等
防護衣、マスク、フェイスシールド、消毒薬の供給。検査体制の充実（ドライブスルー検査や、PCRセンターの設置など）早急な終息。一日も早く日常生活にもどりたくです。
マスク、消毒液などの供給と価格の指導。
マスク、防護服の不足。
医療現場で必要とする医療資材の供給が滞る事態となり、医療活動に支障が生じている。サージカルマスクやフェイスシールド等の医療資材を国で一元管理し、必要とする医療機関に速やかに供給する体制を構築されたい。
感染リスクを低減させるため資材、手指消毒液、手袋、マスク等が不足するので、資材を定期的に供給できる体制を整備してほしい。
・マスク、アルコール、防護服、ゴーグルの配給を。 ・アルコール消毒液の国による医療施設への優先供給スキームが医師会を通じ行われたが、価格がアスカル製品の5倍弱となっている。多少の割高とは聞いてはいたが腑に落ちない。医療機関への優先販売はありがたいが、事前情報の精査等改善をお願いしたい。
ガウンやフェイスシールドが入荷しない。
やはり、感染防護のための物品が不足しています。当院でも、節約しながらしのいでいる状況です。医療機関へ防護品の支給をお願いしたい。また、欧米諸国に比べて、外出の制限などの対応が甘いと指摘されています。自粛の要請だけではなく、やはり、もっと徹底した対策を取らないと、イタリアやニューヨークの二の舞になる危険をはらんでいる。100年に1度の今こそ、経済よりも命にシフトしてもらいたい。さらなる対策の強化をスピード感を持って実施してほしい。
マスク、アルコールは今の所ありますが 長引いたら不足してくると思います。防護服、ゴーグルは全くありません。
マスク及びアルコール消毒液が不足しているので、可能な範囲で提供していただきたい。
新型コロナウイルス感染症について、今後さらに感染が拡大した場合、感染症指定医療機関や指定病床以外でも患者を受け入れなければならない事態が想定される。しかしながら、特に指定医療機関以外の医療機関においては、感染症に対する専門的な知識を持つ医師や看護師などが不足（又は不在）していること、新たに感染対策のための設備を整備する必要があることなどの課題がある。こうした状況を踏まえ、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れることとなる医療機関に対し、マスク・防護服等の感染症患者の対応に必要な衛生用品の供給と、専門人材の派遣や設備整備のための支援制度を早急に創設すること。
住民意識改善。注意喚起広告を増やす。健康維持のCMのみにするなど。マスク、消毒薬の供給不足。
サージカルマスク、N95マスク、アルコール消毒、防護服等の在庫不足のため、市場の安定的な供給体制の確保や国からの物品供給をお願いしたい。
マスク、手指消毒アルコール、防護服、ガウン等の供給不足解消。入院病床確保に対する支援。
マスク、アルコール消毒、防護服、ゴーグル等の供給不足。特に「マスク」は全然足りていない。
マスク等の供給不足への対応。PCR検査の拡大。
マスクについては、県の薬務課からの配布も受けており今のところ充足されていますが、防護服・ゴーグル・手袋・足袋がセットになったものが30組ほどあるだけなので、これらが心細い状態です。
サージカルマスクの供給不足。
マスク、アルコール消毒、防護服、ゴーグル等供給してほしいです。国や県が発信している、受診の目安など若い人たちが知らずに、受診に来たりするので、若者向けにもっと周知できるようにしてほしい。（ユーチューブ等を開くとまずその画面が出るなど）
医療資材の供給

<ul style="list-style-type: none"> <li>・PPE関連（マスク、防護服、ゴーグル、消毒液など）が供給不足により在庫切れの状況となっている。公立病院への優先的な安定供給体制の確立をお願いしたい。</li> <li>・PCR検査体制が、都道府県北部地域は非常に脆弱である。必要時に速やかに検査を実施できる体制を国が主導して確立願いたい。</li> <li>・PCR検査の他、イムノクロマト法抗原・抗体検査の実施を拡大願いたい。</li> <li>・現在、一部の地域にとどまっている「緊急事態宣言」をいまずぐ全国的に行うよう強くお願いしたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスク、アルコール、防護服、ゴーグル等が不足しています。都道府県からいくらか支援していただけていますが、足りない状況です。</li> <li>・マスコミによる報道の抑制をお願いします。住民に不安をあおるような報道は辞めていただきたい。</li> <li>・医療従事者の派遣。一般病院への軽症患者の受け入れ、発熱外来（PCR検査可能）の設置を強制力をもって指示していただきたい。</li> </ul>
<p>マスクおよび消毒液などの不足。ICT診療への支援（保険制度、機械の貸与または配布）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マスク、アルコール消毒、防護服、ゴーグル等の供給不足</li> <li>・検査数を増やせる体制を作ってほしい</li> </ul>
<p>防護服やマスクの供給、ワクチン開発への協力について。</p>
<p>マスク、防護服、ゴーグル等の供給不足の早期改善。</p>
<p>マスク、アルコールジェル、防護服、フェイスシールドなどが全般不足している。</p>
<p>マスク、アルコール消毒液の供給不足。学校休校に対する対策（職員が支障なく出勤でき、業務が行えるため、学校の代わりの体制構築）。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行のルールで院内や職員（同居家族）において患者発生した場合は、場合によって外部支援がないと病院機能を維持できない可能性があること。特に透析部門や調理部門。</li> <li>・現状は何とか対応できているものの長期化した際のマスクやアルコール消毒、防護具などの不足の乾燥性はある。</li> <li>・非コロナウイルス感染者に対する医療提供も必要なため、地域全体での体制づくりに取り組むべきではあるが、患者押し寄せや風評被害の予防のためか、情報が必ずしも医師会も含め全医療機関に公開されていないため、地域全体での体制づくりに支障をきたしている。</li> </ul>
<p>アビガンを早く、広く使ってほしい。</p>
<p>マスク、アルコール消毒の供給不足。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・防護服（ガウン、エプロン含む）、ゴーグルをPCR検査をしない医療機関へも入手できるようにしてほしい。</li> <li>・感染者の少ない田舎や実家へ帰省する事はしないように発信してほしい。やむを得ず帰省等をする方への待機要請を行って欲しい。</li> </ul>
<p>全国の医療機関の不足前の購入量を納入業者等から情報収集し、配布の際は比例配分を望む。</p>
<p>衛生用品の安定供給。</p>
<p>感染の疑いのある患者に接する際のフェイスシールドやディスポガウンの供給が不足している。</p>
<p>感染防護用の物資の供給不足</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マスク</li> <li>・アルコール消毒</li> <li>・アイソレーションガウン</li> <li>・フェイスシールド及びゴーグル</li> <li>・キャップ</li> </ul>
<p>医療機器の整備補助（人工呼吸器等の購入）及び消耗品の購入補助。</p>
<p>感染症終息までの期間が長期化することを見据え、マスク、アルコール消毒、防護服、ゴーグル等を安定供給できるように、国として供給調整をしていただくよう要望します。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・資材（マスク、グローブ等の入手困難）</li> <li>・施設の感染症対応改修等に対する 財源援助</li> <li>・一般の外来と分け、コロナ対応の診察を行う際の収入減に対する補填</li> <li>・物品の供給不足、特にマスク・ゴーグル・防護服</li> <li>・職員は気を使って疲労してきている</li> <li>・危険な場で努力している事を評価してほしい</li> </ul>
<p>アルコール消毒、ガウン、ゴーグルの供給不足。</p>
<p>N95マスク、ゴーグル、防護服、袖付ガウン等が業者に在庫がないため発注できない。</p>
<p>マスク、消毒液などの不足が言われているが、グローブなどが歯科としては不足していると感じる。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サージカルマスク、ガウン(ラミネートガウン、アイソレーションガウン)エタノール含有手指消毒剤の支給(非常に調達困難)</li> <li>・ディスポキャップ、プラスチックグローブ、フェースシールドの支給(徐々に調達困難)</li> <li>・感染病床だけでなく収容のために確保している全病床を対象とした補償</li> <li>・風評により患者数が大幅に減少。収益減に対する財政支援</li> <li>・コロナ対応に従事した職員の給与費増加分に対する財政支援</li> </ul>
<p>マスク、アルコール消毒不足は明らかにあり。</p>
<p>このような調査を一元管理し、情報提供してほしい。</p>
<p>マスク、防護服、ゴーグルの支給</p>
<p>マスク、アルコール消毒等の供給不足。簡易検査等の実施体制の確立。</p>
<p>感染防止にかかる医療材料の不足。(マスク、フェイスガード、防護ガウン、消毒液等)</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要物品の安定した供給</li> <li>・オンライン診療へ導入しやすくするための、国内サーバーかつ安全な回線を使用したオンライン会議システム（決裁などの余分なものがない純粋なテレビ電話or会議システム）</li> <li>・院内で利用することができるマニュアル、パンフレットのまとめ</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・当院でも、マスク、アルコール消毒、防護服、ゴーグル等の供給不足が続いており、通常時の流通を早く確保して頂きたい。マスクについては、納入価が5倍になっている。</li> <li>・治療薬（アビガン）の使用を1日も早く実現して頂きたい。</li> <li>・ワクチンの開発及び1日も早い実現。</li> </ul>
<p>マスク、消毒液、防護服等の供給をお願いしたい。聞いたことがない業者からの販売斡旋などが増加しており、入荷が可能であるのなら国の方で何とか対応して医療機関へ配布してほしい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・防護具の供給</li> <li>・外出制限（罰則つき）の法制化</li> </ul>
<p>サージカルマスクや防護服の供給不足が生じており、日本にある技術を総動員して当該物資の供給を確保していただきたい。</p>
<p>マスク・手袋・アルコール消毒液・ガーゼ・防護服・ゴーグルなど供給不足。PCR検査をよりスムーズに行ってほしい。疑い症状のある患者の対応と受け入れについても。諸外国のように対象者全員の検査が受けられるように対応してほしい。</p>
<p>サージカルマスク、N95マスク、防護服、ゴーグル、フェイスシールド、長手袋など、防護用品を医療機関に供給して欲しい。</p>
<p>PPEの供給希望。</p>
<p>マスク、アルコール消毒、防護服などの供給不足。</p>
<p>アルコール消毒液、防護服、ゴーグル等の医師、看護師を感染から防ぐ医療具の支給をお願いします</p>
<p>マスク、アルコール消毒、防護服、ゴーグル等の供給不足。</p>
<p>ガウンが不足しております。（実際必要となる場面はめったにないと思われませんが）</p>
<p>上記と重複するが、そもそも物資の確保について最低限持っていた分、こちらが在庫をもつと今診療してる病院に迷惑がかかるので遠慮をしていたが、すべての物資に在庫の底が見えている状態。特に日常でも使用するアルコール消毒液は顕著。</p>
<p>マスク、アルコール消毒、防護服、ゴーグル等の供給不足。</p>
<p>マスク、アルコール、防護服等の供給。</p>
<p>マスク、アルコール等はなんとか数が確保できているが、現在マスクの取り扱いをしている業者等も減少しているため、せめて医療機関及び介護機関従事者についてはマスク等の安定支給をお願いしたいところである。</p>
<p>マスク、アルコール消毒、防護服、ゴーグル等の供給不足。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人用防護具の供給</li> <li>・感染予防と対策の正確な情報発信</li> <li>・TV等のメディア、根拠のない情報の抑制</li> </ul>
<p>マスクをはじめとする全ての医療材料を要望いたします。</p>
<p>感染対策に必要なマスク、アルコール消毒、防護服、ゴーグル、フェイスシールド等の不足。体温計も入手し難い。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスク、アルコール消毒液、ガウンの不足に対する供給</li> <li>・新型コロナウイルス罹患患者の軽症者・重傷者を含めた入院及び待機施設の増床</li> <li>・簡易的な検査キットの開発・普及</li> <li>・ワクチンの開発・普及</li> </ul>
<p>マスク、アルコール消毒等を支給してほしい。</p>
<p>マスク、手袋、手指消毒用アルコール等の関連物品は依然品薄で、発注してもなかなか納品にならず、供給不足が続いており深刻な状況となっている。</p>
<p>N95マスク、フェイスシールドの供給不足の解消。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスク、消毒用アルコールが少なく、入手が困難である。検体採取時の防護服がない状況であり入手できるようにしていただきたい。</li> <li>・マスク：処置しているナースは1日1枚。そうでない職員は1週間に1枚。</li> <li>・コロナ疑いの患者の診察が増えるようならばゴーグル、エプロンが足りない。</li> <li>・治療となると（当院は治療機関ではないが）防護服も必要。</li> </ul>
<p>マスクが不足している状況が続いている。</p>
<p>一刻も早い、ワクチンや治療薬の開発を望みます。また、医師をはじめとする医療従事者が感染源とならないようにマスク、アルコール消毒薬などの提供を要望します。</p>
<p>一般の無床診療所についても、感染対策にかかる施設整備や消耗品の購入等に対する助成制度が望まれる。</p>
<p>医療資源（マスク、アルコール消毒、防護服等）の供給不足</p>
<p>マスク・アルコール消毒の供給</p>
<p>サージカルマスク・手指消毒アルコール剤、防護服、ゴーグルが不足しています。（入荷の見込みが立っていません）</p>
<p>防護セットの安定供給。遠隔診療の導入。看護師さんへの時間外手当。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サージカルマスク</li> <li>・キャップ</li> <li>・フェイスシールド</li> <li>・手袋</li> <li>・消毒用アルコール</li> <li>・防護服</li> <li>・体温計</li> </ul>
<p>マスク等の供給不足。</p>

マスク、グローブ、消毒液などの必需品の早期供給安定。
診療用グローブの在庫が底を尽きかけている。当然ながら、マスクやアルコールも不足しており、ゴーグルや防護衣は手に入らないのが現状。
マスク、防護服不足。
・離島においてもPCR検査の実施体制を整備し、検査体制のさらなる拡充を図ること。 ・医療用マスク等の安定供給のため、メーカー等に適切な生産・供給を働きかけ、特に医療機関に必要な資材が十分に確保できるようにすること。
ゴーグルの在庫がない。マスク・手袋・アルコール消毒薬は在庫があるが特にマスクや手袋の供給が無く不安を感じている。
マスク、防護具、ゴーグルなど不足している。
地方でもPCR検査をもっと実施できるようにしてほしい。
N95マスク、アルコール消毒の不足の状態であり、地域の診療所ではウイルス検査ができない状態では、スタッフの感染リスクを考えると全ての患者への対応はできないと推測される。
アピガンの適時な投与（発症6日以内）も本来的には診療所レベルで行うべきだが、そのためにも高次医療機関だけでなく、診療所への防護服とアピガンの支給体制を円滑に進めて欲しいと思います。
マスク、アルコール消毒、防護服、ゴーグル等の供給不足改善。
必要医療物品の充足。診断、治療の確立。
発熱患者を診ているが、マスク、アルコール消毒液、防護服、ゴーグルは今月いっぱいではなくなる。今後は診察できないのではないかと不安。問屋へ注文しているが、全く購入できない状態。
マスク、アルコール消毒等の供給不足。
アルコールが手に入らず次亜塩素酸で衛生管理を行っている。マスク、アルコール、PPEを含めて、十分な供給体制を構築されたい。
上記消毒薬、マスク等の基本的資材の流通を促して欲しい（対応済みでしょうか）。
・PPEの供給 ・発熱外来などを地域で設置し、一般受診の患者を有症状者の受診場所を区別すべき
医療機関が優先してマスク等予防商品を購入できるようにしてもらいたい。
ワクチンの開発
ウイルス対策で Standard precaution を超える防護措置が必要な場合の例示。
マスク、アルコール消毒、使い捨てエプロン及び手袋等の不足。
医療現場には安定的な供給を希望する。
正しい報道。テレビがあまりにもいい加減すぎる。国の発表が一番誠実だが、それを捻じ曲げる報道があまりにも多い。
マスク、アルコール消毒、防護服、ゴーグル等が不足している。
診療所で使用するマスク、手指用消毒、医療用アルコール消毒液が不足している。
診療材料の確保。
マスク、アルコール消毒液、防護服等の不足。
医療物資の生産・安定供給について、メーカーや卸売業者等に適切な生産、供給を働きかけ、安定供給に万全を期して頂きたい。収入が減少した医療機関に対する救済支援策を早期に講じて頂きたい。
防護服、ゴーグルがないのでほしい。
マスクがほしい。
各市町村単位で、新型コロナウイルス専門の外來診療拠点場所（テント等）を設置し、対応してほしい。そうすることで、他の患者への院内感染対策にもつながります。
防護服やマスク、医療用手袋、消毒用アルコール等の物資の供給をスムーズにしてほしい。新型コロナウイルスへの対応を行っている施設に対する補助金の枠を広げてほしい。
・感染症対応時の防護具（マスク、アルコール消毒、防護服、ゴーグル等）の供給不足の解消 ・市町村単位での発熱外来の設置
・感染症対策物品は、必要時、必要量を供給できる状況にしていきたい。 ・発熱時、感冒症状の方が、まずどうするか、どこに相談するかを周知していきたい。
消毒薬が不足している
N95マスク、ゴーグル、フェイスシールド不足。また再利用のしかたについて正しい情報が知りたい（消毒方法など）。
COVID-19に関連して職員に人員が出た場合に、臨時の職員（医師、看護師、事務員ともに）を派遣していただけるようなシステムを考えてもらいたい。特に当院の所在するような医療資源の乏しい地域においては、患者が医療難民となる危険性が高いため、人員派遣システムは重要度が高いと考える。
医師会経由などですでにマスクやアルコール消毒液などの供給をいただいているため、資材の確保には大変助かっている。今後も必要となればいつでも入手できる、医療機関専用の資材供給システムを確保していただきたい。
（新型コロナウイルス感染症に特化した要望ではないが、現場の混乱の一因となっていると考えられるため）経済優先の医療政策の見直し。マンパワー増および現場で医療職を育てる根拠となり得る診療報酬。
診療所には防護服と使い捨てアイシールドの在庫がないため、大きい病院以外でもそういった物品が回ってくるようにしてほしい。
マスク及び手指消毒用アルコールの供給量の増加を希望します。
当町内での蔓延又は病院内での発生などで、防護服等が不足に陥った場合、早目の供給対応をお願いしたい。
・マスクが注文しても一切入ってこない。病院に最優先でマスクを供給してほしい。 ・アルコール消毒その他の物品も不足している。

<p>マスク、消毒液は普通に使用した場合3か月以上は在庫があると思うが、その先を考えると備蓄したいと思うのはトイレットペーパーなどの買い占め状況と同様。確実に供給されることで、現在必要な部署に届くことが望ましい。防護服、ゴーグル等は全く足りない状況だが、今後の体制でコロナ感染者疑いの検査をしないのであれば必ずしも必要はない。</p> <p>医療現場で必要不可欠な物品の安定供給を強く要望。(マスク・アルコール消毒・防護服等)</p>
<p>マスク、アルコール消毒の供給不足、オンライン診療実施の具体的指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染の発生段階が、地域発生期へ意向した場合、医療従事者全体が不足し、地域医療体制はひっ迫することが、大いに予想される。大学病院等からの医師の派遣により、診察・当直を行っている病院にとって、派遣元の医師の確保が優先されることによる、派遣中止になれば地域医療の継続ができなくなるおそれがあり、医師の確保の観点から一層の医師の確保対策をお願いしたい。</li> <li>・医療用の資材の確保に関しては、国からの配布もあるが、いつまで続くのか不安定であり、配分も満足できる数量ではない。今後は安定的な仕入れができるよう流通体制を確保してもらいたい</li> </ul> <p>マスク・防護服・ゴーグルを供給してほしい。</p>
<p>アルコール消毒の不足、入手困難。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サージカルマスクが僅かしかない(現在は2日で1枚使用のペース)</li> <li>・内視鏡を行う際に必要なN95マスクが足りない。</li> <li>・フェイスシールドやガウンを注文しているが、入手できていない。</li> <li>・アルコールやアルコールジェルの入荷が全くない。</li> </ul>
<p>マスク、エプロン、アルコール消毒液その他診療材料の安定供給が実践されるよう要望する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな指示の明確化。</li> <li>・医療用マスク・アルコール・ガウン・ゴーグル等の供給。</li> </ul> <p>物品の不足に対して備蓄の確保に努力しているが、どうしても不足してくるので、国からの補助を是非お願いしたい。</p>
<p>特に、アルコール消毒液と防護具の不足。</p>
<p>マスク、アルコール消毒、防護服、ゴーグル等が不足しています。</p>
<p>医療用物資の安定供給。感染があった場合の風評被害への対応。</p>
<p>マスク、アルコール消毒、防護服、ゴーグル等の供給不足解消。</p>
<p>PPEの不足に対応してほしい。</p>
<p>上述してある感染予防に必要な物品の不足。また、感染症患者を入院させた際の専門スタッフのダイレクトに感染しやすい歯科で、急性期の受診以外は受診を控えるよう、国民に向けて、大々的に、言っていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状、マスクは何とか足りているが、アルコール消毒薬がなく、医療機器の消毒用エタノールもなく消毒が出来ない。防護服、ゴーグル等は全く発注しても手に入らない。</li> <li>・無症状の患者が多くいると思われ、いちいち保健所に相談してからのPCR検査では無症状感染者の発見が遅れて、感染に歯止めがかからない。もっと、PCR検査を増やすべきである。</li> <li>・これだけ重要な局面であるのに、いまだ不要不急の外出者(特に若者)が多い。もっと厳重な対応が必要である。今のままでは、感染が減るどころか、増々増加していくと考えている。</li> </ul>
<p>マスク、アルコール消毒液を配布してもらいたい。</p>
<p>マスク、アルコール消毒液を配布してもらいたい。</p>
<p>物資の配布。</p>
<p>マスク、アルコール消毒、防護服等の供給不足。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マスク、アルコール消毒液、防護服、ゴーグルが不足している。</li> <li>・特にアルコール消毒液、マスクについては、数ヶ月しか備蓄がなく困っている。</li> </ul>

ゴーグル、フェイスシールドが手に入れにくい。
防護具全般、消毒薬などの供給。
アルコール消毒、防護服、ゴーグルがない。
マスク（サージカル、N95）、消毒用アルコール、防護服、ゴーグルの供給を要望します。
防護服、マスクの不足。
在庫を増した物品について事後の補助金申請を認めてほしい。
マスク、アルコール消毒液、ガウン、ゴーグル等を供給してほしい。感染拡大防止の施策をもっと強く打ち出してほしい。
PPE(個人防護具)の不足に対応してほしい。
・マスクなどの防具類の安定供給 ・無症状または軽症のPCR検査陽性者の宿泊施設での管理の徹底（地域医療崩壊を防ぐため） ・何らかの理由で感染リスクが高くなったり、何らかの症状がある医療関係者に対する早めのPCR検査
・感染防止対策のため、月必要分の衛生材料の供給をお願いしたい。 ・院内感染防止用の衛生材料が不足している状況がいつまで続くのか判らない状況での診療は医療従事者にとって、かなりの精神的ストレスが生じている。心のケアも必要と思います。 ・外来患者の減少、健診業務の中止、医療提供の縮小を余儀なくされている状況です。住民及び職員を感染から守るための院内感染防止策は必須であり、地域の二次救急病院として医療機能を維持するため、人員及び材料費の確保が厳しい状況です。今後において財政的な支援をお願いしたい。
・中山間地域においては高齢者が7割以上であり、ICTを活用できる患者も少なくオンライン診療や電話診療を行うことは難しい現状がある。
・補助金、地方交付税、診療報酬の引上げ等の財政措置 ・施設基準及び当該手続き等の一時的な緩和 ・マスク、ガウン等、診療材料の一元供給 ・情報の発出元、問い合わせ先の一元化
・マスク等のディスプレイ製品の供給不足 ・気管カニューレなど医療処置に必要な物品が業者から入ってこない
・PPE、マスク、アルコール等の供給不足 ・PCR検査を保健所を通さずに行えるようにしてほしい ・PCR検査をもっと多く行える体制を整えてほしい
マスク、アルコール消毒、防護服、ゴーグル等の供給不足。
・マスク、防護服、ゴーグル、体温計等、感染者を診察する上で必要となる感染予防具材の安定供給。 ・医療従事者に対する補償（不利益が高じた場合の危険手当等の支給、感染（疑いも含む）した際の医療従事者及び家族等に対する差別的対応を防ぐ対応）。 ・SNSによる誤った情報の拡散を防止し、正しい情報の発信。 ・かかりつけ医の判断によりPCR検査を実施できるよう要望する
衛生材料の供給不足。フェイスシールド自作やマスクの使い回しなどしている。
防護服、ゴーグル等の供給不足。
防護服一式、アルコール消毒の供給をお願いする。
マスク、PPE、フェイスガード、消毒用アルコール等を供給してほしい。
マスク、消毒用アルコールの不足、防護服、ゴーグル、手袋の不足を改善してほしい。
マスクやアルコール消毒は継続して入手困難な状況となっている。
マスク、アルコール消毒、防護服、ゴーグル等全て不足。供給してほしい。
マスク、アルコール等の物資の供給、医療スタッフの負担の軽減、ドライブスルー方式で検査ができる場所を増やす。
受診抑制や入院制限による収入減少に対する保障。COVID-19感染が長期間継続する際の、感染防護具の安定供給体制づくり。へき地の医療機関では他に代わる医療機関がないので、病院診療機能は維持しなければならない。診療圏内の病院・診療所間、公立・私立医療機関の間で人員の融通がスムーズに行える支援策（移動費用・補償費などの負担）はありますか。遠隔診療導入の為の援助策がありますか。
マスクや防護服が不足しているので、可能であれば国からの配給を望む。またこのような事態に備えて、日頃マスク等の備蓄が必要である。
発熱外来の患者や感染が疑われる患者対応として、PPE装着が必要であるが、防護服、ゴーグル等の納入がない。マスク同様に、国で買い上げるなどして医療機関に優先的に配付してほしい。健診・ドックについて、明確な判断が示されていない。特に、事業所に義務づけられている法定健診について、健診機関が地域に少数しか存在しない場合、当該機関で受入を中止したときの影響が大きいため、リスクを抱えながらも健診をしなければならない状況にある。健診期間の弾力的配慮などを国で示してほしい。
・アルコール消毒液（手指消毒用） ・フェイスシールドなど、眼の予防具 ・袖付エプロンまたはアイソレーションガウン ・ニトリル手袋
防護具やアルコール製剤の供給。
マスク、アルコールの供給。
マスク等は全量を国が管理して配布してほしい。
マスク、アルコール消毒液、防護服、ゴーグル等の供給不足の速やかな解消。 ・必要な物品が必要な数必要な時に入手できる（必要以上は不要）。 ・新型コロナ様症状の患者が受診できる診療所や医院など。一般の患者と完全に区別したい（区別しないと危険である）。



医療用マスクが特に入荷しないので早急に対応をお願いしたい。フェイスガード、防護服、アルコール消毒液も同様の対応をお願いしたい。
マスク・ゴーグル等の医療材料について、現状は、ある程度確保されている状況ではあるが、今後、感染が拡大し、材料が不足した場合の供給をお願いしたい。
マスクは少しずつではあるが、供給されている。しかし、アルコール消毒、防護服、ゴーグル等は購入したくても品物が無い状態である。納入業者に注文してもいつは入荷できるかわからない状態で、陽性患者が発生した場合、今の在庫では不安である。帰国者接触者外来を設置し、入院対応の準備をしている病院に対し優先的に医療資材の確保をお願いしたい。
アルコール消毒、手袋が頼んでも入ってこない。
今のところ、マスクやアルコール等は在庫分に対応できているが、現在の物資の供給状況が続いた場合、不足する恐れがあるため、医療機関への安定した供給体制を早急に整えてほしい。
サージカルマスクやアルコール消毒液、防護服など不足しているので、優先的に供給をお願いしたいです。
感染者、非感染者をしっかりと分離できるような医療機関の役割分担を明確にされたい。その上で対応に充てる医師もしくは、対応に充てる医師の代替となる医師の確保等に対応策や支援策を講じられたい。マスク、アルコール消毒、防護服、ゴーグル等の供給不足に加え、受入れ対応に必要な空気清浄機（陰圧機）や患者搬送用の車いす型アイソレーターなどが手に入らない状況であり、国の責任において、これが改善されるよう働きかけられたい。外来患者が激減する一方で、新型コロナウイルス感染症患者の治療・受入れを想定した病院施設の改修や対応のための備品、物品の購入などが必要であり、また患者が発生した場合には、外来の停止や入院患者の転院などとともに、対応経費も増大することから、しっかりと財政支援措置を講じられたい。また危険業務の対応にあたる看護師等に対する手当など、特別な需要が必要となる場合には、かかる経費について十分な財政支援措置を講じられたい。
衛生材料などの安定的な供給。
マスク、アルコール消毒、防護服、ゴーグル、エプロン等の供給不足。
マスク、アルコール消毒液、使い捨て手袋等の消耗品在庫が少なくなっているが、特にマスクが在庫薄となっております。メーカーでもすぐに納品が難しいような状態であり、マスクの増産・配布を要望します。
物資の供給・人について検討してほしい。物資は何とか入ってきているが一部フェイスシールドの自作等を行っている者もあり、物資の安定供給を願う。感染症や呼吸器の専門医の派遣を行ってほしい。コロナウイルス患者受け入れに伴う急激な患者減少による収入減への対策。
これまでの様に各医療機関が対応していたのでは医療崩壊を招く。検査専門施設にて徹底的な検査と感染者に対する隔離、治療の専門的な施設が早急に必要と考えます。
マスク、アルコール消毒の備蓄が少ないため、支援していただきたい。
小規模な診療現場ではマスク、アルコール消毒剤等の供給が滞っている。少量でも供給が途切れないような対応を望む。
マスク、アルコール消毒液、防護服、ゴーグル等の安定供給を望みます。
院内感染とならないようにするため、防護服、ゴーグル等の供給をお願いしたい。
当所のような小さい医療機関にもN95マスクやガウン、ゴーグルの配布など国からの支援が必要。郵送してもらいたい。近くの医師会まで車で1時間以上かかるため。
マスク、アルコール消毒の不足。
・令和2年4月10日付「新型コロナウイルス感染症に従事する医療機関・医療者への支援に関する要望について」の要望のとおりと思います。
・ドラッグストアや販売店ではまだ、マスクや手指消毒薬の売り切れ状態が続いているように思われるので、解消され一般の方も入手しやすい状況になってほしい。
マスク、アルコール消毒、防護服、ゴーグル等の供給不足。
手指消毒薬、マスク、防護服、ゴーグル等の優先供給の実施。PCR検査の拡充。医療過疎地域における発熱外来等の集約調整。
マスク、アルコールをドラッグストアではなく公共施設（役所など）で販売するよう変更して欲
マスク・消毒剤・防護服・ゴーグル・手袋すべて不足。
マスク、アルコール消毒、防護服、ゴーグル等現場で働く職員への感染予防関連用具の供給不足。
医療物資の安定供給を要望します。
都会から田舎へ人が移動する事でウイルスが拡散している。移動を禁止してほしい。
マスク、アルコール消毒液などの医療施設への流通安定化。
マスク、アルコールに関しては、市場が硬直状態であるため、流通が図られるよう更なる対策を講じてほしい。PCR検査について、院内で検体を採取しても輸送容器（カテゴリーB）が無く、輸送手段もゆうパックに限られているので、弾力的に運用できるようにしてほしい。
マスク・消毒液・非接触型体温計等が入手できない状態。
・個人防護具や消毒液の供給
・流行地から非流行地への不要不急の移動、移住の徹底
・マスクや消毒薬の優先的な供給
・検査体制の更なる充実と簡素化
・休診時に対する補償

<p>・マスク、アルコール消毒液等の支援対策。</p> <p>・無症状又は軽症の自立可能な患者を一時的に療養（経過観察）できる簡易宿泊施設の設置。さらには、自立不可の患者を収容できる、介護付きの施設の確保。</p> <p>感染防止の用具の迅速な配布と適正な販売価格でのあせせんを求めます。</p> <p>スタッフを守るため、防護服、ゴーグル、マスクなどの医療施設への優先的な供給をお願いしたい。調べてもらっているがなかなか手に入らないので。</p> <p>・アルコールおよびマスク等の不足による今後の不安</p> <p>・防護服/ゴーグル等の不足へ今後の不安</p>
<p>マスク不足により、外来受診時マスクを装着に協力できない場合がある。今後長期的な対応が必要となるため、マスク、アルコール消毒、ゴーグルについて定期的な供給をお願いしたい。</p>
<p>・PCR検査所（発症外来）をもっとたくさんつくり、入院の必要な人は全員入院前に検査し、そこから新型コロナ（+）の人は対応医療機関へ、そうでない人は一般医療機関へと振り分けるシステムをつくらないと院内感染はどこでも起こります。（今、院内患者は本当にcovid-19と思われる人が、（+）の場合におびえているのがほとんど）</p> <p>・救急患者も同様になります。はじめにPCR検査をして少しでも早く陽性患者を発見すべき。</p> <p>・ドライブスルー方式でどんどん検査し、少しでも早く陽性患者を発見すべき。</p>
<p>・マスク、長袖ガウン、アルコール消毒の供給不足への対応</p> <p>・（陰圧）個室、専用外来室等の設備不足への対応</p>
<p>PPE材料の安定供給を強く希望。感染指定医療機関に集中する負担を軽減してほしい。一般医療機関もコロナ感染症の診療に携わるように指導を願う。また、軽症者・無症状者に対する隔離施設を早急に設置し、施設の運用と対象者の健康管理をお願いしたい。</p>
<p>発熱外来を作りそこで検査を出来るように。</p>
<p>衛生材料等（マスクや消毒用アルコールなど）の安定供給。</p>
<p>ガウン、マスク、ゴーグル等の供給不足。</p>
<p>マスク、アルコール消毒液、防護服、ゴーグル等の定期的な供給を要望します。</p>
<p>・マスク・アルコール消毒液などの防具類の安定供給</p> <p>・無症状または軽症のPCR検査陽性者の宿泊施設での管理の徹底</p> <p>・何らかの理由で感染リスクが高くなったり、何らかの症状がある医療関係者に対する早めのPCR検査</p> <p>・医療関係者への学校教育の区別</p>
<p>各地域で感染症外来を病院の駐車場などに設立し、すべての感染症をそこで診療し、必要に応じてPCR検査を施行する体制をつくる。</p>
<p>マスク、アルコール消毒、防護服、ゴーグル、エプロン、ガウン等の供給不足が起きている。医療現場へ優先して供給してほしい。</p>
<p>マスク、アルコール、体温計、防護服等の供給不足の解消。</p>
<p>アルコール消毒（手指用、清拭用）</p>
<p>・サージカルマスクだけでなく、ガウン・N95マスク・手袋・キャップ・手指消毒液等を供給して欲しいです。</p> <p>・感染症指定医療機関との中でコロナウイルスの対応をする医療従事者には手厚い支援をして欲しいです。</p>
<p>マスク、アルコール消毒、防護服、ゴーグル等の供給不足により、職員の不安がある。特にアルコール消毒が不足している。</p>
<p>マスク、消毒液、防護服等の安定的な供給をお願いしたい。補助金を100%にさせていただいても、購入は各施設独自でとなっているので販売ルートを探すのが困難な状況です。</p>
<p>アルコール消毒が不足している。</p>
<p>アルコール消毒、防護服、手袋の不足。空気清浄機や次亜塩素酸水の生成器の購入支援や貸与。</p>
<p>早急なマスク、アルコール消毒液の十分な供給体制。特に防護服、ゴーグル等は急務である。また少しでも症状を抑えられる対応薬がある場合は早急な使用を認めること。</p>
<p>マスク、防護服、ゴーグル等。感染者が出た時の搬送方法が定まっていない。</p>
<p>マスク、アルコール消毒、ガウン、手袋の安定供給の確保に努めてほしい。</p>
<p>アルコール消毒、PPEの不足解消</p>
<p>マスク、アルコール消毒液、防護服等必要な物資納入がない。</p> <p>特に本県は感染症患者が増加しており、国から特定警戒都道府県に指定されるなど今後ますますの感染症患者増が予想される。少しでも多くのマスク、アルコール消毒、防護服、ゴーグル等の優先的供給と、迅速な財政的支援を要望する。</p>
<p>・マスクや防護具・消毒液等の安定供給。</p> <p>・外来患者の減少や空床確保のための収入減少があるため、病院経営への対応。</p>

<p>・マスクやアルコール消毒液、防護服等物資の十分な供給。</p> <p>・経営への悪影響や新型コロナウイルス感染症対策のための施設整備、物品購入等に対応するための予算措置。</p>
<p>万が一、感染者受け入れとなった場合は、院内での感染を予防する為に、感染予防の為に資材を要望したいと考えます。</p>
<p>マスク、防護服、アイシールドについて、一月分程度の在庫はありますが、それ以降について、入荷の目途が立っていません。</p>
<p>・マスク、消毒液、防護服、ゴーグルいずれも不足。島には医師一人、看護師一人しかいない。もしどちらかコロナに感染した場合、診療所を維持するために国から派遣してもらえるのか？</p> <p>・要望を具体的に書くのが筋かと思いますが、今、ここでできることを、できる範囲でやっていくしかないと考えますが長い目で見ての要望です。</p> <p>・かかりつけ医と総合病院の役割が活かせるよう、患者を取り巻く医者同士の連携がスムーズに行えるようなシステムを作ってほしい。（例えば、保健所を介さなくても医師間の情報共有ができるように。）</p> <p>・人権、個人情報の保護について今一度考えてほしい。今回の殺傷能力のある報道をよしとするのですか。</p>
<p>感染予防マスク・ガウン・キャップ・アイガード・フェイスガード等購入ができないと同時に、注文を受け付けていただけません。期限の切れたものでも使用できればと考えておりますが、1・2個しかないため使用してしまうと、いつ購入できるかわからないため、使用することができません。必要な物品の購入ができるようにしていただきたいです。「新型コロナウイルスに感染したが無症状なのではないか」「新型コロナウイルスを否定したい」、という主訴で受診される方が増えることが予想されるため（ご本人の希望や会社からの要望など）、新型コロナウイルスをご自身で疑った場合や症状が出現した場合の対応（医療機関への受診方法や保健センターへの連絡方法など）を周知する広告を作成していただきたいです。</p>
<p>・マスク・アルコール消毒、防護服、ゴーグル等の供給不足。</p> <p>・離島のため、PCR検査を依頼してから判定結果が出るまで4日間を要する。感度の良い簡易検査キットの許可と保険適用を要望します。</p>
<p>感染拡大防止のためPCR検査の拡充をお願いします。（市中感染が増加している今、医療崩壊を防ぐため、PCRの拡充が必要であり、将来新型コロナウイルス感染症以上のパンデミックが起こっても対応できるPCR検査体制の構築が重要と考えます。）</p>
<p>マスク、アルコール消毒剤は備蓄が底をついており、取引業者からの納入もめどが立っていない。新型コロナウイルスだけでなく、別の感染症の対策にも不安な状態であり、医師をはじめ医療従事者の感染の危険がある。国等の早急な対策を要望する。</p>
<p>入院患者の受け入れ調査をされるが、受け入れ可能な病床数ではなく、どのような患者をいつまで依頼をすれば対応可能なかなど、一定の基準を示したうえで調査すべきと考える。受け入れる側も、体制整備が可能なか分からないなかでは回答もできない。基本的には受け入れたいと考えている。</p>
<p>ふだんより、マスクの使用が必要だが、まったく手に入らない。今のところは十分あるが、長引く可能性が強いため、非常に悩んでいる。</p>
<p>マスク、アルコール消毒、防護服、ゴーグル等の供給不足。</p>
<p>透析処置時は最低でも血液暴露があるためマスク、エプロン等防護具が必要である。在庫が厳しい状況にならないようにしていただきたい。</p>
<p>マスク、アルコールが不足しています。</p>
<p>現在は足りているが、今後の不安はある。</p>

(▼「いいえ」と回答した施設の自由記載欄)

今のところ物品は足りているが、患者受け入れが始まれば不足すると思う。